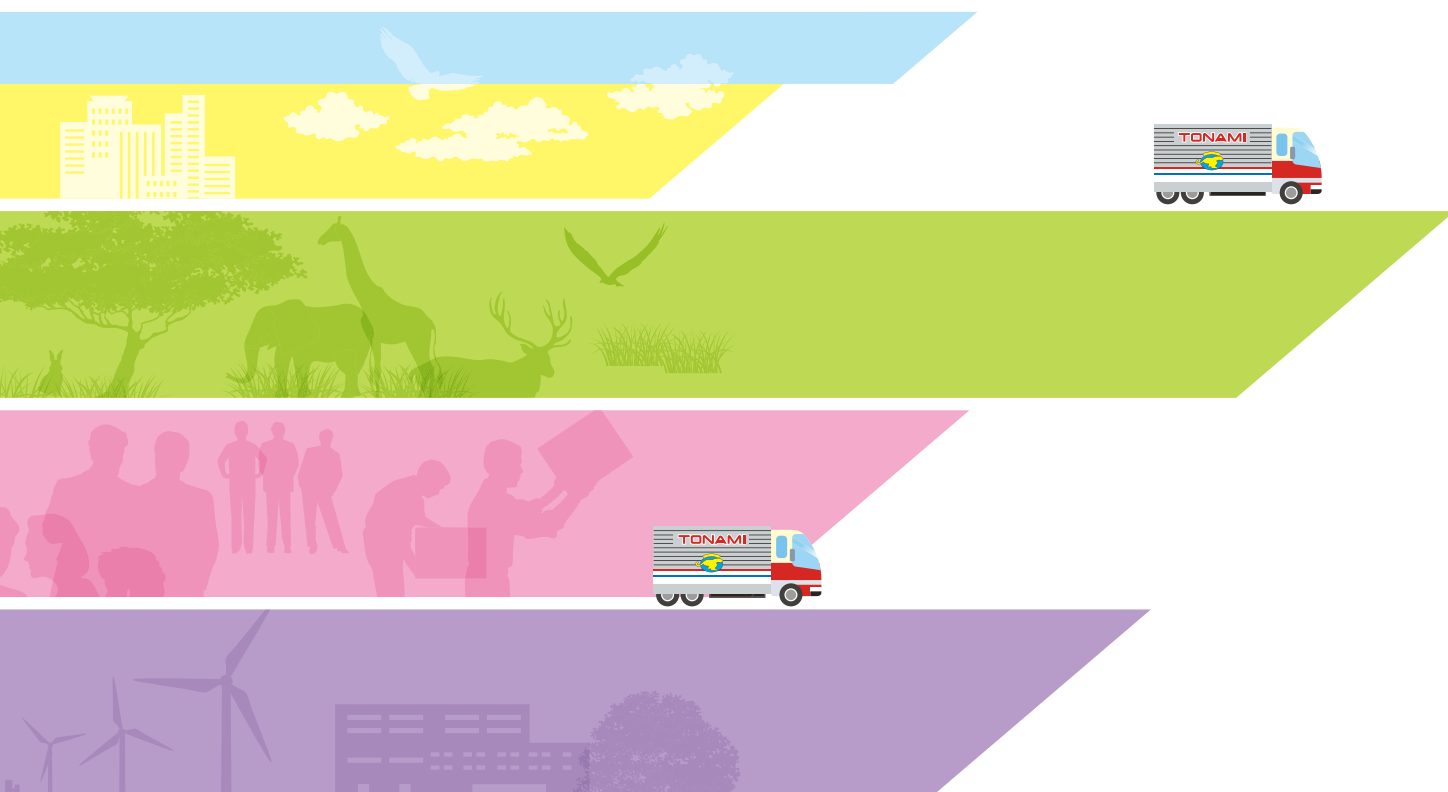




Corporate Social Responsibility Report

CSR報告書 2018



トナミホールディングス株式会社



Contents

経営理念	1
会社概要	2
トップメッセージ	3
事業報告・第21次中期経営3ヵ年計画	4

事業概要

社会とのつながり

地域社会とのコミュニケーション	13
環境とのつながり	19
環境マネジメント	19
地球温暖化防止・大気汚染防止	21
廃棄物削減への取り組み	24

社員とのつながり

人材育成と働きやすい 職場づくりを目指して	25
安全な社会づくりを目指して	27

企業統治

コーポレートガバナンス体制	31
法および社会倫理の遵守	33

トナミホールディングスグループ

経営理念

「和」の経営理念を実践し、
経営基本方針に基づいて
「企業の社会的責任(CSR)」
をはたしていきます。

トナミホールディングスグループは、お客様に「安全・確実・迅速なサービス」を提供することを通して事業の発展をはかり、株主の皆様へ「適正で安定した配当」を継続することを経営の基本方針としています。

この方針に基づいて、収益性を確保し、常に企業価値の向上に努め、その成果を株主の皆様、お客様、取引先、社員、社会と適正に分ち合うことが、トナミホールディングスグループの使命であると考えています。

編集方針

- この報告書は、2017年度を中心としてトナミホールディングスグループが行ったCSR活動を紹介しています。
- 構成にあたっては環境省「環境報告ガイドライン2012」、ISO26000(社会的責任に関する手引)を参考にしています。

対象期間

2017年4月1日～2018年3月31日(一部対象期間外の活動も含みます。)

対象範囲

トナミホールディングスグループ全ての事業会社の活動実績を対象としています。

会社概要

(2018年11月30日現在)

商号 トナミホールディングス株式会社
設立 1943年6月1日
資本金 14,182百万円
本社 〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

純粋持株会社

■ トナミホールディングス株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonamiholdings.co.jp/
-------------------	-----------------	---

物流事業グループ会社

■ トナミ運輸株式会社	富山県高岡市昭和町3-2-12	http://www.tonami.co.jp/
■ トナミ運輸信越株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.tonami-shinetsu.co.jp/
■ トナミ運輸中国株式会社	広島県広島市西区草津港3-2-1	http://www.tonami-chugoku.co.jp/
■ 京神倉庫株式会社	京都府京都市下京区和気町21-1	http://www.keishin-soko.co.jp/
■ トナミ国際物流株式会社	神奈川県横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル7階	http://www.tgic.co.jp/
■ 北関東トナミ運輸株式会社	埼玉県熊谷市新堀1054-4	http://www.k-tnm.co.jp/
■ 株式会社テイクワン	埼玉県川口市新堀988	http://www.teikuwan.co.jp/
■ 株式会社ケーワイケー	千葉県柏市藤ヶ谷676-1	http://www.kyk-gr.com/
■ 関東トナミ運輸株式会社	東京都中央区日本橋横山町4-5 福田ビル5階	http://www.kanto-tonami.co.jp/
■ トナミ首都圏物流株式会社	神奈川県海老名市本郷1675	http://www.tonami-shutoken.co.jp/
■ 新潟トナミ運輸株式会社	新潟県新潟市西区北場1087-1	http://www.niigata-tonami.co.jp/
■ 北陸トナミ運輸株式会社	富山県高岡市上四屋4-42	http://www.hokuriku-tonami.co.jp/
■ 石川トナミ運輸株式会社	石川県白山市平松町158-1	http://ishikawa-tonami.co.jp/
■ 福井トナミ運輸株式会社	福井県敦賀市羽織町13-3	http://f-tonami.co.jp/
■ 阿南自動車株式会社	長野県諏訪市中洲5502-18	http://www.anan-tp.co.jp/
■ トナミ第一倉庫物流株式会社	愛知県名古屋港区砂美町128	http://www.tdwl.co.jp/
■ トナミ近畿物流株式会社	大阪府松原市天美北4-1-8	http://www.tkb1073.co.jp/
■ 中央冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-7	http://www.churei.com/
■ 初鶴冷蔵株式会社	広島県広島市西区草津港1-7-4	

関連事業グループ会社

■ トナミビジネスサービス株式会社	東京都中央区日本橋堀留町2-8-4 日本橋コアビル7階	
■ 東洋ゴム北陸販売株式会社	富山県富山市呉羽町7271-1	http://www.toyo-hokuriku.co.jp/
■ トナミ商事株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tonami-shoji.co.jp/
■ KSR株式会社	京都府京都市下京区中堂寺壬生川町20-2	http://www.ksr-jp.com/

海外現地法人

■ 托納美物流(大連)有限公司	中国遼寧省大連市保稅区南港路18-2号B棟701	
■ TONAMI (THAILAND) CO.,Ltd.	7th floor J.B.Building, No.32 Vipavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand	http://www.thaitonami.com/
■ MAHAPORN TRANSPORT Co.,Ltd.	205/10 Moo 3 Laemchabang Industrial Estate, Tungsukla, Sriracha, Chonburi 20230, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/mahaporn.html
■ H&R Forwarding Co.,Ltd.	7th floor J.B.Building, No.32 Vipavadi Rangsit Road, Jompol, Chatuchak, Bangkok 10900, Thailand	http://www.thaitonami.com/ja/har.html

関連会社及び関係先

■ 北海道トナミ運輸株式会社	北海道札幌市白石区川北2246-1	http://h-tonami.jp/
■ ジャパン・トランス・ライン株式会社	東京都江東区東雲1-7-30 (第一貨物(株)東京支店内)	
■ 株式会社ジェスコ	富山県富山市婦中町広田3978	http://www.jessco.co.jp/
■ 高岡ケーブルネットワーク株式会社	富山県高岡市昭和町1-2-10	http://www.tcnet.ne.jp/
■ 高岡通運株式会社	富山県高岡市能町1935	http://ch-sense.com/takatuu/
■ アルハイテック株式会社	富山県高岡市オフィスパーク1	http://alhytec.co.jp/
■ 東砺運輸株式会社	愛知県名古屋西区浮野町75	http://touto-unyu.co.jp/touto0.html



トップメッセージ

トナミホールディングスグループは、
「働き方改革」を経営の中心に据え、
持続可能な事業活動に見合う
適正対価の収受を促進し、
「成長し続ける物流企業」の実現により、
みなさまの生活を支援し、
社会に貢献してまいります。

トナミホールディングス株式会社
代表取締役社長

綿貫 勝介

事業戦略とCSR経営

2018年6月に多くの被災者を出した大阪府北部地震、その後発生した西日本豪雨、さらに今世紀最強とも言われた台風21号の襲来、間もなく北海道胆振地方を震源とする大地震と、日本列島がここまで続けざまに自然災害に見舞われたことが無かったかと思えます。

いずれの災害も各地域の物流インフラにも甚大な被害を与えており、完全な復旧までには、時間を要するものとみられます。

物流業界においては、労働力人口の減少による影響が深刻となっており、日本経済の血液ともいわれる物流を止めないために、「物流の省力化・効率化・環境負荷低減」などを推し進めることが求められています。

そのような中、当社グループは、2020年度を最終年度とする3か年の中期経営計画を策定し、コーポレートスローガンに「持続的な成長企業への進化!! Try & Growth “2020”」を掲げ、「働き方改革」を経営の中心に据えて、重点戦略の展開をはかっております。

引き続き当社グループは、「事業戦略とCSR経営」の一体的な取り組みを、本年度からスタートしました「第21次中期経営3か年計画」において推進していくこととしています。

国内外の物流の役割・機能の変化も著しい中、事業収益規模の拡大・拠点投資の展開・人材の採用育成など、重点戦略の進展による安定事業基盤の構築をはかり、持続的

な成長を目指してまいります。

その実現のためにも、企業理念・企業ビジョンに掲げた基本精神は遵守しつつも、当社グループの環境活動も事業活動と一体となって取り組むことが、継続的な活動を促し、社会から必要とされる企業として、持続的成長につながると考えております。

コーポレートガバナンスの強化

当社グループは、物流サービスの「安心・安全・安定」を基本として、働きやすい職場環境の整備やITを最大限に活用した提案力の強化、ライフラインとして物流の役割・機能の向上をはかり、社会の期待に応えてまいります。

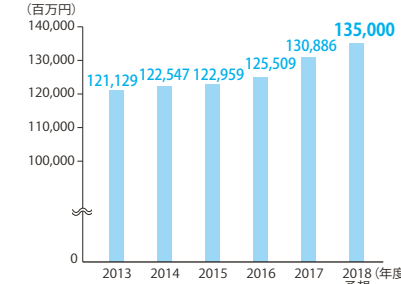
トナミグループ社員行動規範に則り、「事業活動のあらゆる局面におけるコンプライアンスの徹底」を行動原則として、物流事業の一層の価値創造とCSRを果たす経営に邁進してまいります。

「輸送の安全を確保すること」、「地球環境に配慮すること」、「法令やルールを守ること」、「人権を尊重すること」、「地域社会に貢献すること」は、物流企業としても肝要であり、コーポレートガバナンスのさらなる強化により「コンプライアンス経営」を推進することにより、一層の社会的価値を創造してまいります。

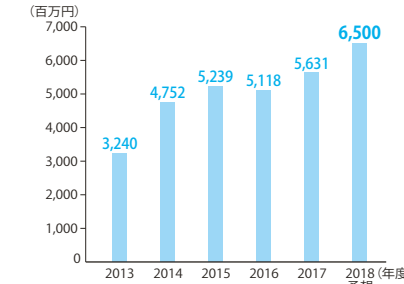
このように、当社グループの活動を多少なりともご理解をいただき、今後ともみなさまから忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業報告

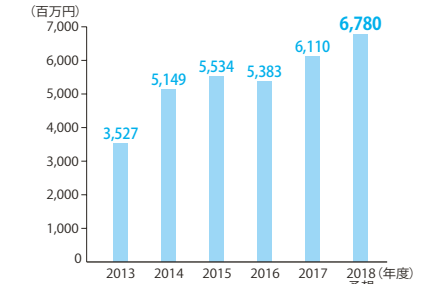
連結営業収益



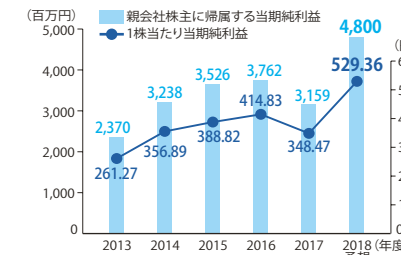
連結営業利益



連結経常利益

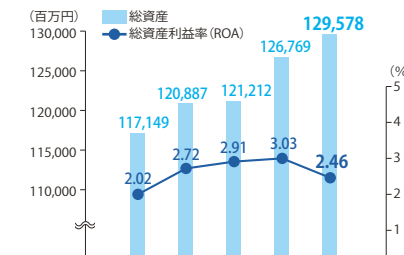


親会社株主に帰属する当期純利益

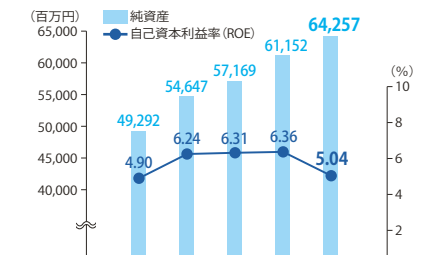


※2017年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を仮定した金額を記載しています。

総資産/総資産利益率(ROA)



純資産/自己資本利益率(ROE)

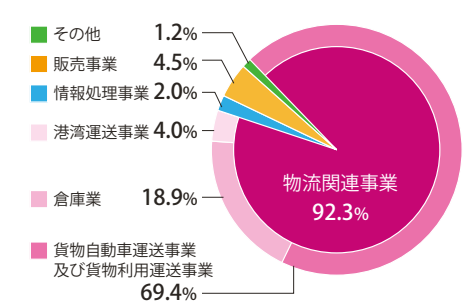


事業別連結営業収益

事業別	金額(百万円)	構成比(%)	前期比増減率(%)
物流関連事業	(120,751)	(92.3)	(4.5)
貨物自動車運送事業 および貨物利用運送事業	90,823	69.4	3.7
倉庫業	24,696	18.9	8.1
港湾運送事業	5,231	4.0	1.2
情報処理事業	(2,673)	(2.0)	(△6.3)
販売事業	(5,857)	(4.5)	(2.1)
その他	(1,604)	(1.2)	(20.8)
合 計	130,886	100	4.3

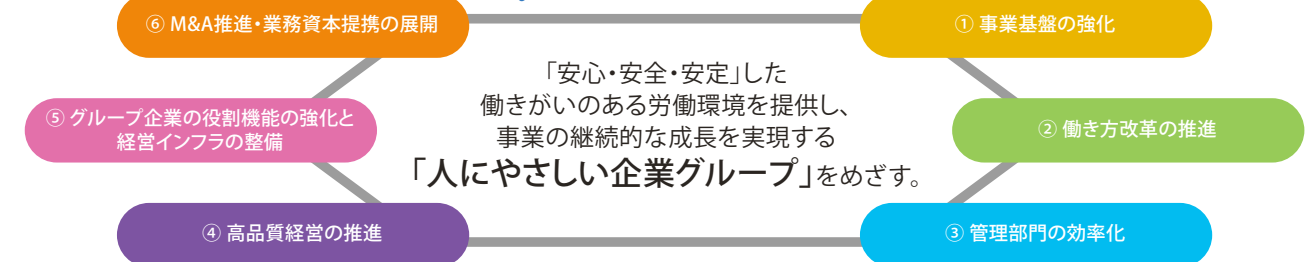
(注) その他欄には、自動車修理業、旅行業、ダイレクトメール業、その他事業の各収入を含めて表示しています。

事業別連結営業収益構成比



第21次中期経営3か年計画(2018~2020年度)

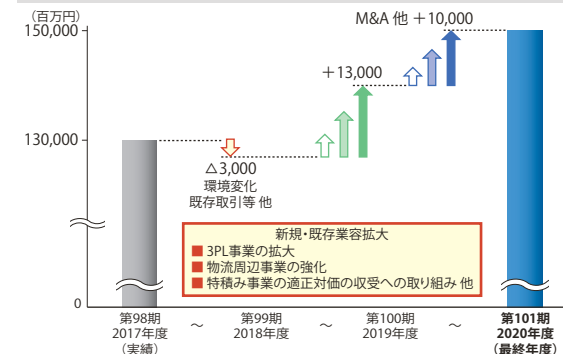
【基本方針】『持続的な成長企業への進化!!』 Try and Growth “2020”



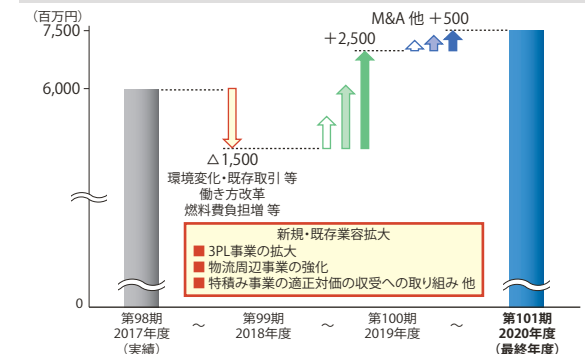
『安定成長企業へと進化する3か年』と位置付け、各事業分野における実績とノウハウに裏付けられた質の高いサービスを提供し、『お客様・株主・社員・社会(地域)』からも信頼を得られるよう、一層の企業価値向上と持続的な成長の実現に努めてまいります。

[2018年4月1日~2021年3月31日]

営業収益



営業利益



特別積合せ貨物運送事業

日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使して、価値ある速さを実現します

本州に点在する流通センターと日本国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、物流拠点の点と線を効率的に結びます。高速道路網を使った大量輸送から多頻度小口配送までお客様のニーズに迅速に対応します。

トナミ特急便

ユーザビリティに徹したサービスでスピーディーに正確に、大切な荷物を運びます。



サイズの大小にかかわらず、お客様の大切な荷物を全国どこにでも。また、医薬品や美術品、OA機器などの特殊輸送も確実に。高速ネットワークを使って円滑にお届けします。運ぶのは大切な荷物、そして真心と信頼です。

トナミチャーター便

国内拠点を連携する物流情報ネットワークで効率的な貸切便を提供します。

大量幹線輸送から近距離配送まであらゆる物流シーンに活用していただけるサービスです。



JITBOX チャーター便

BOX単位のチャーター便で集荷・納品流通在庫削減を強力にサポートします。

BOXはお客様の貸切り。BOX単位で受け付けし、配達するため、コストを抑えられます。積み付けた後はお届け先まで一切BOXは開きませんので破損、口割れの心配もありません。前日18時までに出荷、翌日10時から納品時間を指定できる便利なサービスです。



ネットワーク

京神倉庫 流通加工支店



トナミ運輸 加古川支店、流通センター



トナミ運輸中国 岡山支店、流通センター



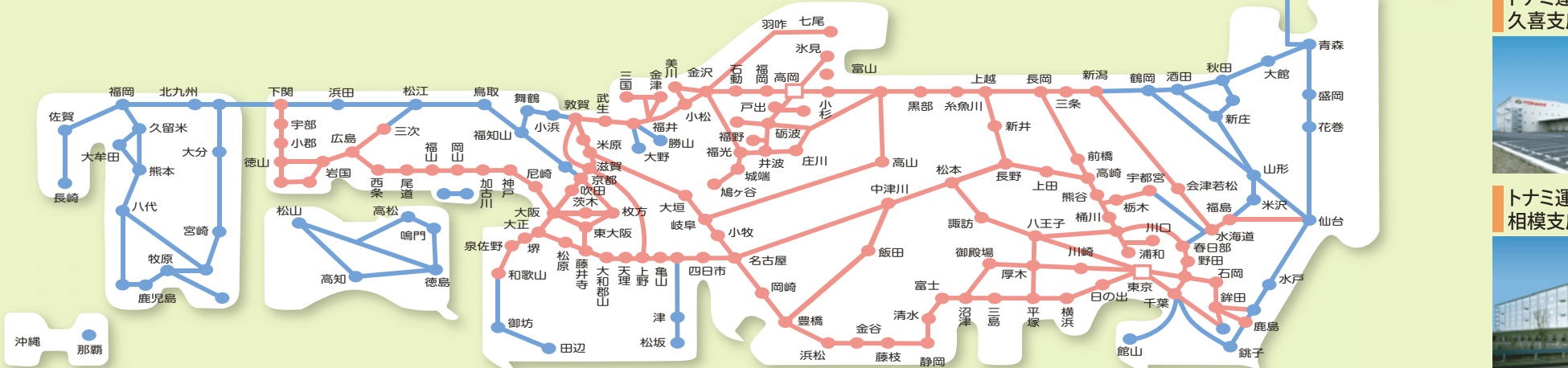
中央冷蔵



トナミ運輸 南大阪支店、流通センター



トナミ運輸 大阪中央支店、流通センター



トナミ運輸 清須流通センター



トナミ運輸 富士支店



トナミ第一倉庫物流 大口第2営業所



3PL(サードパーティロジスティクス)事業

お客様の物流機能の効率化や高度化をサポートするアウトソーシングサービスです

お客様の物流機能の効率化や高度化を目的とした包括的なアウトソーシングサービスです。輸送・保管など基本的な機能のほか、情報システムを活用した受発注・在庫管理・仕分け・梱包など関連する業務を提供しています。

アセット型はもとより、自社保有の資産にとらわれないノンアセット提案も行っています。社会全体が環境に対する関心が高まる中、省エネ設備・技術を導入した物流施設を増やし、環境負荷を低減する取り組みを進めています。

お客様に最適な物流環境を提案するトナミのトータルマネジメント

コンサルティング機能

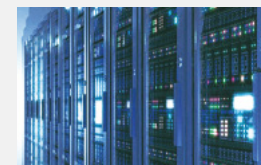
お客様の物流の現場を調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。豊富な実績とノウハウを持つコンサルタントが、物量、立地状況、輸送ルートなどを調査、分析し、最適な物流環境をご提案します。



情報システム機能

お客様のニーズに合わせて、最適なシステムをご提供します。

物流に関するあらゆるノウハウをシステム化し、ITを活用することにより、物流に関わる全ての機能をコントロールし、最適なシステムを構築します。



業務運営機能

入庫や保管の業務などを、最適に運営します。

多種多様な物流情報システムを組み合わせ、物流業務の効率化をサポートしています。物流現場のオペレーションも当社の経験豊富な技術スタッフがを行います。



物流ネットワーク機能

国内外のネットワークを駆使し、物流の最適化を図ります。

国内に展開する流通センターと、国内外に広がる物流ネットワークを駆使し、お客様のニーズに迅速に対応できる最適な物流ネットワークをご提供します。



トナミ運輸 富山支店、流通センター



北海道トナミ運輸 江別営業所



トナミ運輸 久喜支店、流通センター



トナミ運輸 東京支店、江東流通センター



トナミ運輸 相模支店、流通センター



トナミ運輸 浦和支店、流通センター



トナミ首都圏物流 県央支店、湘南支店



トナミ運輸 川崎支店、流通センター



阿南自動車 松本支店



トナミ運輸信越 新潟支店、流通センター



ロジスティクスサポート事業

24時間365日、お客様の「目」と「耳」になり、物流を監視・管理し高品質な配送を提供します

ロジスティクスサポート事業とは、「お客様の24時間365日の物流ニーズ」に対応するために、既存の全国物流ネットワークとコンピューターシステムを融合させた新しい物流サービスです。インターネット環境を利用したマルチベンダー型物流管理システムにより、お客様と物流

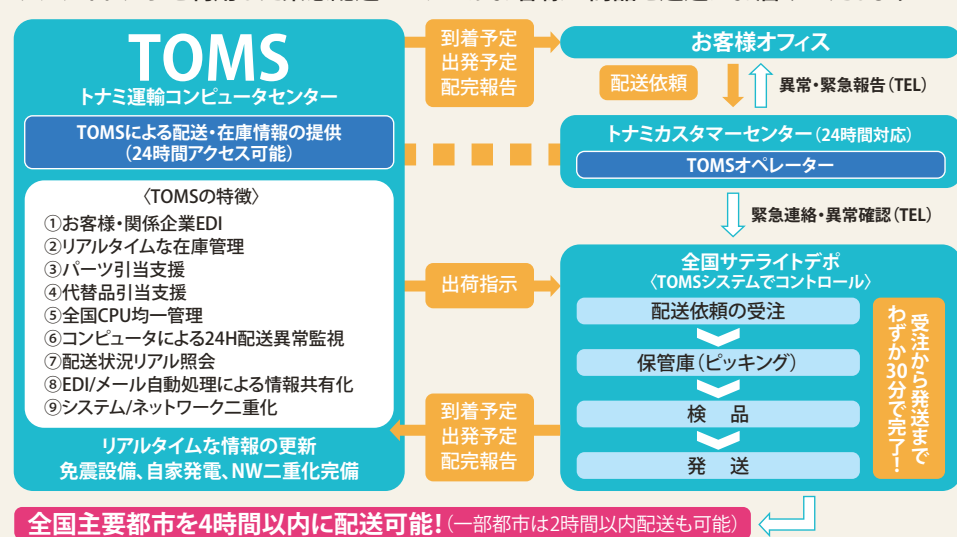
業者による配送状況や在庫状況をリアルタイムで共有化を可能にし、それぞれの顧客ニーズにマッチした物流システムの構築、サービスの提供により物流の最適化をはかります。

緊急配送システム概要

事業内容

- 1 全国に配置した専用拠点とコンピューターシステムにより、24時間365日対応の配送が実現可能です。
- 2 専用システムによりお客様がリアルタイムに必要な物流情報を取得、確認できます。
- 3 配送工程・入庫工程などすべての工程に対するレポート機能が充実しています。
- 4 リアルタイムでのデータ更新、ならびに照会が可能です。

サテライトデポを利用した緊急配送システムがお客様の商品を迅速にお届けいたします！



国際物流事業

陸・海・空に広がる国内・国際輸送ネットワークで確実に配送します

経済やビジネスのグローバル化に合わせて世界各国へ荷物を配送する機会も珍しくなっている今日、当社グループでは国内外での関連会社や代理店との

提携により地球規模のネットワークを張り巡らせています。国外へも国内と同様に安心・確実・スピーディーな配達を実現しています。

国際航空輸送

国内と同様に安心・確実・スピーディーな配達を実現しています

国際貨物を専門に取り扱う事業所として、東京、富山、福井、大阪、名古屋の各々に国際支店を設置し、空港での通関業務サービスを含め、有力フォワーダーとの提携により輸出・輸入問わず最適な輸送サービスを提供しています。また、輸出入業務に精通したスタッフで万全の体制を整えています。



国際海上輸送

一般コンテナ輸送を中心に通関から船積みまでの一貫した海上輸送サービスを提供します

当社グループによる通関業務サービスと港湾最大手会社、ならびに大手フォワーダー会社との業務提携により、輸出・輸入問わず高品質な輸送サービスを提供しています。



輸出トラック船積み風景



特定保税承認者承認書



認定通関業者認定書

海上貨物を中心に扱うトナミ国際物流では、AEO事業者*の認定（認定通関業者および特定保税承認者）を受けており、高い信頼性・安定性を確保しています。また、車両の輸送業務については、長年蓄積された高いノウハウに基づいたサービスを提供しています。

*AEO (Authorized Economic Operator) 制度とは、貿易におけるセキュリティ確保と円滑化の両立を図り、世界基準での貨物の管理と法令遵守の体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化を提供する制度です。

海外現地法人の紹介

トナミタイランド

タイのマハポン社は、レムチャバン港に位置し、海上コンテナ、輸出入貨物の輸送はもちろん、1万坪の敷地を活用してコンテナ保管事業にも積極的に取り組んでいます。マハポン社は早くよりクロスボーダーライセンスを取得し、タイの周辺国への越境輸送や長尺・重量貨物輸送を得意としています。H&R社はバンコクに位置し、通関・フォワーディング機能を有するトラック輸送会社です。バンコクおよび

その周辺での公共工事や大型プロジェクトに関わる建設資材の取り扱いを主な業務としており、タイのインフラ整備に貢献しています。



マハポンスタッフ



トナミタイランド・H&Rスタッフ

托納美物流（大連）

中国で事業展開を行っている托納美物流（大連）では、中国国内での陸運免許を取得しており、自社トラックを保有し、大連と上海を主要拠点として、実運送業務を行っております。また、日中間の国際輸送を行うだけでなく、日本での倉庫運営のノウハウを活かし、中国国内のお客様の物流施設の庫内運営業務も行っています。各拠点では現地女性

スタッフも積極的に採用しており、トナミグループの物流品質で拡大する中国市場に挑戦し続けます。



大連スタッフ

緊急配送サテライトデポシステム

全国23カ所のサテライトデポと100を超えるサブサテライトが、あらゆるニーズにお応えします



サービス内容

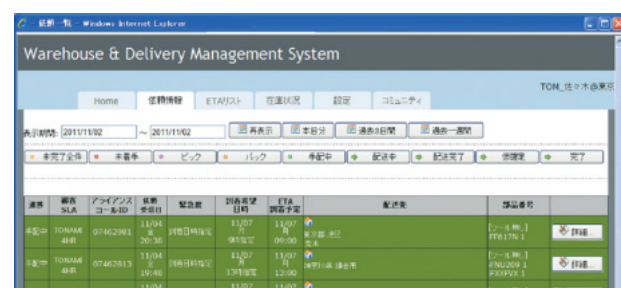
- 1 24時間365日対応
- 2 緊急配送（出動）
- 3 商品の在庫管理
- 4 1つの窓口で一括管理
- 5 特殊作業を全国に均一レベルで一斉展開

TTMS（物流業務進捗管理）システム

インターネット環境があれば、IDとPassの入力ですべてどこでもあらゆる端末でログインができ、情報の閲覧ができます

サービス内容

- 1 複数物流業者の情報を一括管理
- 2 お客様の依頼に対する進捗管理
- 3 在庫管理
- 4 日々の物流コストの自動計算



引越事業

人の笑顔、家族の幸福を全国どこへでも運びます

大がかりなオフィスの移転から小さなお引越まで、全国どこへでもお客様の「新生活」を丁寧に運びます。安心・安全な引越サービスを提供する引越優良事業者として「引越安心マーク」を取得しており、お客様の立場に立って品質第一を心がけています。

オフィスの引越

オフィスや店舗、工場をまるごとお引越。
業務に支障なく、移転業務が完了します。

開設・移転計画からお引越までをトータルサポート。移転先のレイアウト作成をはじめ、原状回復工事の施工、NTTの移転手続き代行、OA機器の販売・メンテナンス・コンサルティングなども行っています。



住まいの引越

荷造りから輸送まで、丁寧・確実に、家族の大切な
お荷物を思い出・幸福と共に運びます。

大型家具・家電製品、衣類、書籍、食器など、大変で煩雑な住まいのお引越を丸ごとお引き受けし、お客様の「暮らし」を全国へ。オプションとして、エアコンの電気工事手配や家財の一時保管、ピアノの調律・修理なども受け付けています。



ミニ引越

進学、就職、単身赴任の引越はおまかせください。
新生活のスタートを真心込めてバックアップします。

ご進学、ご就職、単身赴任など、新生活のスタートを熱く応援します。お引越のプランニングから梱包のお手伝い、新居へのお引越まで、お客様のご要望に沿って、スムーズに進めていきます。



引越優良事業者認定証



その他のサービス

会場の設営、精密機器の運搬、
重量物の運搬、商品の陳列、
仕分作業なども行います。
協力会社と提携により、海外へ
のお引越も受け付けております。



通運事業

地球環境にやさしいコンテナ輸送でCO₂を削減します

地球温暖化防止への取り組みは、全世界の緊急重要課題となっています。

当社グループは鉄道の大量高速性とトラックの機動性をドッキングさせたJRコンテナ輸送のモーダルシフトを推進しており、トラック輸送の削減による環境負荷低減と同時に、交通事故防止や長距離運行等の効率化につなげています。



モーダルシフトの具体的な取り組みの紹介

トナミ運輸は、第一貨物(株)、久留米運送(株)と共同して、良質なサービス提供と運行効率化を目指し、2012年4月に合併会社となるジャパン・トランス・ライン(株)を立ち上げ、幹線輸送の一部の共同化を進めてきました。

2016年11月4日には、国土交通省より、「支店における貨物の混載、合併会社を通じた効率的な手配、着地からの効率的な運送など、3社の協力により実現した輸送形態は、改正物流効率化法が目指す効率的な輸送に合致

した括目すべき案件である」と評価をいただき、「モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)」を受賞しました。

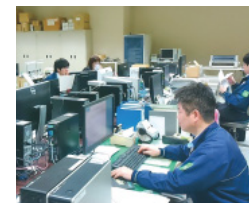


IT事業

人とモノの流れを見守るのもトナミの仕事です

スーパーマーケットやコンビニエンスストアに並ぶ食料、生活用品から書店で販売されている本まで、「物流」は今ある私たちの豊かな暮らしと深く関わっています。現代では、スムーズな物流を実現する上で、ITによるネットワーク管理が欠かせません。トナミ運輸は、業界に先駆けて物流のIT化に取り組むなど、長年培ってきた確かなITで、物流ネットワークを管理しています。トナミ運輸のITを担うコンピュータセンターでは、大切な情報資産を守るために、さまざまな事態を想定した危機管理対策を徹底し、万全のセキュリティ体制を確保しています。

また、3PL事業においては、業種ごとの物流体系に応じた最適なシステムを構築し、幅広い分野で当社グループのITが活かされています。



TOPICS

国際物流総合展2018に初出展!

KSR(ケーエスアール)は、2018年9月11日から9月14日まで、東京ビックサイトで開催された「国際物流総合展2018」に、オリジナルのパッケージソフトである物流倉庫管理システム(WMS)「Klog21」と運輸業まるごとシステム「Ktrn21」を広くアピールするため、本展示会にブースを出展いたしました。

本展示会の来場者は、4日間で74,520名、当社ブースには1,534名の方にご来場いただきました。

当社ブースでは、「Klog21」と「Ktrn21」について、製品

の特徴や導入メリットをご説明したところ、ご来場いただいた数社様から導入検討のお話を頂戴することができました。特に「Ktrn21」は、本展示会内でも他社にはないパッケージシステムということで、高い評価を得ることができました。

次回の「国際物流総合展2021」にも出展を予定しています。



国内航空事業

航空機とトラックのスピーディー輸送で、“今日中に届けたい”を実現します

航空輸送と陸上輸送との絶妙なコンビネーションで、よりスピーディーにお届けします。さらに突発的に生じた

ビジネス文書など一刻を争う時にも、当日配達を可能にし、スピード時代の物流を先駆けています。

国内航空輸送

航空機とトラック輸送のコンビネーションで
物流シーンのシナジー効果を発揮します

日本を代表するエアラインと連携し、各地へテイクオフ。スピードを要する検体輸送や生鮮品輸送などを空のネットワークとトラックによる陸上輸送のシナジー効果で国内当日配達も可能です。航空便でビジネスシーンに新たな付加価値を与えます。



車両整備事業

信頼の絆を育む、トナミ独自の安心車検です

当社グループとして、野田・新潟・砺波・金沢・福井・名古屋・滋賀の7ヵ所に車両整備拠点を置き、国公認整備工場として信頼できる点検整備を行っています。確かな

整備・技術がトナミの車両と日々の運行をサポートし、お客様への安心を支えています。トラックや商用車だけでなく、マイカーの車検点検整備もお受けしています。



物品販売事業

お客様のニーズに幅広いサービスと商品をご提供します

当社グループでは、通信販売および店舗販売の双方にて各種商品の販売を展開しています。

トナミ運輸物品販売事業部では、通信販売で北陸の名産品を幅広く取り扱う「とやま産品インフォメーションセンター」と「いしかわ・ふくい産品インフォメーションセンター」の運営の他、全国各地の旬の味覚やふるさとの温もりを伝える名産品を多数取り揃えています。また、インターネット通販では全国の有名店やご当地ラーメンを販売し、好評の「ビブマート」や、トナミ運輸バドミントン部のオフィシャルショップ「トナミバドショップ」を運営し、国内のみならず海外のファンからも熱い注目をいただいています。

- ・ご当地ラーメンビブマート <http://www.viv-mart.com/html/company.html>
- ・トナミバドショップ <http://www.tonami-badmintonshop.jp/>



東洋ゴム北陸販売では、お客様のカーライフをプロの技術でサポートするタイヤショップ「タイヤプロ」を富山県内5店舗で展開しています。

軽自動車から特殊なサイズのタイヤ、大型車両、工事車両、特殊車両などにも幅広く対応可能な設備を整えています。

日常のタイヤ点検から緊急時の出張技術作業まで、お客様に安心・安全をお届けする身近なプロショップです。



トナミ商事では、お客様の日常生活の安心・安全から企業のリスクヘッジまで、万に備えるための手段としての保険や、時代のニーズを捉えた付加価値の高いサービスと商品をご提供しています。

また、ビジネス出張から団体旅行まで、快適で安全な旅行をご案内するために、幅広い知識とノウハウを活かして目的に応じた旅行プランをご提供します。



環境関連事業

地球と人にやさしい、循環型社会を目指してさまざまな活動を推進しています

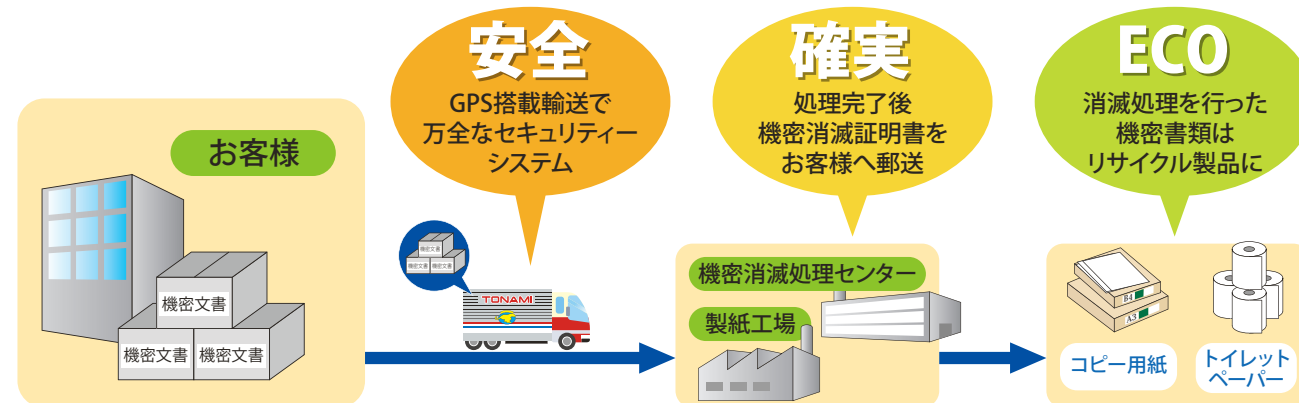
限りある資源を大切にし、廃棄物の発生をおさえ、資源を循環的に利用する「循環型社会」を目指す取り組みは、現在企業の業種や規模を問わず求められている課題

です。この課題に当社グループは物流で応え、リサイクルと循環型社会の形成に貢献しています。

エコロックシステム

エコロックシステムを発展的にリニューアルした「エコロック便」は1個口からでもセキュリティー（GPS機能搭載）を付加した輸送モードにより、回収と機密消滅ができる商品です。

オフィスで不要になった重要書類を、安全・確実に回収・消滅いたします。



家電リサイクル

廃家電製品の収集運搬・集積場運営。電機店などから排出される廃家電製品（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機）と家電メーカー様の廃家電製品・法定集積場の運営など、リサイクルが義務付けられている廃家電製品のリサイクルに積極的に取り組んでいます。



容器包装リサイクル

廃プラスチックの再資源化を推進、経済産業省のエコタウン事業に共同参加しているトナミでは、再生ポリ袋やベンチシートなどの原料となる廃プラスチック容器の再資源化を提案し、各家庭や企業から市町村自治体へ排出される同容器の収集・運搬業務に当たっています。

産業廃棄物の収集運搬

○環境関連法に対応した物流
環境の保全への対応は、地球規模で求められています。社会的規範や企業倫理（モラル）を守ることも「コンプライアンス」に含まれ、環境関連法への対応は企業経営の観点から不可欠です。

当社グループは、環境関連法を遵守し、環境省広域認定制度のコンサルティングから運用に関して最適な物流をご提案します。

北陸アルミ水素将来ビジョン検討会議

アルハイテックは、北陸地区におけるアルミを有効活用した水素社会のビジョンづくりを目指す「北陸アルミ水素将来ビジョン検討会議」に参加しました。

水素利用の将来像を分かりやすく示したビジョンの発表を行った2018年10月26日の会議では、地元事業者として、当社におけるこれまでのアルミ水素事業の取り組みについても発表を行いました。



アルハイテック 高田社長による講義

地域社会との コミュニケーション

トナミホールディングスグループは、福祉施設への支援活動や次世代育成など、さまざまな地域活動に参加し、社会に貢献しています。

福祉支援活動

一般財団法人トナミホールディングス松寿会は、1994年3月にトナミ運輸（現トナミホールディングス）の創立50周年記念事業として、社会福祉の増進をはかり、もって豊かで住みよい社会の発展に寄与することを目的に、設立された団体です。

2014年4月1日、富山県内に限定されていた事業活動を全国で、かつ、より自由に行えるように財団法人から一般財団法人へ移行し、同時にトナミ松寿会からトナミホールディングス松寿会へ名称変更しました。

2018年度は、富山県の社会福祉法人 砺波市社会福祉協議会様、特定非営利活動法人 立山WAいいちゃ様、社会福祉法人 宇奈月福祉会 小規模多機能ホームかたかご様、石川県の社会福祉法人 手取会 大門園訪問介護サービスセンター様の計4団体に福祉車両の贈呈を行いました。さらに、災害義援金寄付事業として中国新聞社会事業団を通じて、「西日本豪雨災害義援金」ならびに富山県共同募金会を通じて「北海道胆振東部地震災害義援金」へ寄付しました。

車両寄贈台数

92台

災害義援金件数

6件



福祉車両・助成金贈呈式



綿貫理事長から車両キーの贈呈



福祉車両の取り扱い説明



贈呈車両

災害義援金拠出／寄付活動

トナミホールディングスグループ25社は、西日本豪雨の被災地支援の義援金として中国新聞社会事業団を通じて寄付を行いました。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと

もに被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

また、トナミホールディングスは、地域貢献活動の一環として、さまざまな地域イベントに寄付を行っています。

シアター・オリックス

世界の舞台芸術作品が集う祭典であり、世界第一線の演出家による舞台芸術の上演が行われます。2019年8月に富山県利賀村と黒部市での開催が決定しました。

国際文化交流の推進と芸術文化の振興のため当社も寄付を行い、来年の演劇祭の成功を期待しています。



ねんりんピック2018

60歳以上の方々を中心に、毎年開催されています。今回は2018年11月3日～6日に富山県で、27種目が県内15市町村で行われました。スポーツや文化を通じた地域や世代を超えた交流に当社も応援しています。



募金型自動販売機の導入

トナミ運輸では、提携のベンダー企業に協力を依頼し、募金型自動販売機を導入しました。

地球温暖化対策が求められている中、わずかでもCO₂削減に貢献したいと考え、「緑の募金」に寄付できる自動販売機の導入を決めました。

収益金の一部は地方緑化推進委員会を通じて公益社団法人国土緑化推進機構に寄付され、全国の緑化推進活動費用に充てられます。

今後はこの活動を当社グループ各社に広め、環境にやさしい活動への取り組みを推進していきたいと考えています。



緑の募金



募金型自動販売機

バドミントン教室の開催

トナミ運輸バドミントン部は、国内各地から依頼されるバドミントン講習会等にも選手を派遣し、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。ジュニア

選手を対象にバドミントン講習会を行い、スポーツの素晴らしさを共有し、2020年に東京で開催されるオリンピックに希望と夢をともに描き始めています。



2/24～25 広島県福山市講習会



4/28 新潟県黒埼町講習会



3/3 富山県砺波市講習会



4/30 石川県七尾市講習会



3/10～11 岡山県倉敷市講習会



6/30 石川県かほく市講習会



3/10～11 佐賀県佐賀市・武雄市講習会



10/13 新潟県糸魚川市講習会

スポーツ支援活動

トナミ運輸 バドミントン部

現在、トナミ運輸男子バドミントンチームは、国内の団体戦(全日本実業団大会・国民体育大会・S/Jリーグ)全てに優勝を収め、企業チームNo.1に成長しています。

2018年の全日本実業団大会では、出場企業チーム172チームの頂点に立ち王座奪還を果し、国民体育大会では、成年男子の部で優勝3連覇・S/Jリーグは2連覇中で3連覇を目指しています。個人戦では、2017年度の第71回全日本総合選手権大会においてTONAMI旋風を巻き起し、優勝・準優勝・入賞を果し、その勢いが衰えることなく日本ランキング大会で男子単優勝・混合複優勝、全日本社会人大会でも

男子複・混合複で優勝を収めました。海外オープン大会の活躍も目覚ましく、7月のマレーシアオープンでは男子複優勝、タイオープンでは男子単・複優勝、8月の世界選手権では男子複準優勝、その他のオープン大会で幾多の上位入賞を果たしています。

また、インドネシアで開催された4年に一度のアジアスポーツの祭典『第18回アジア競技大会』で男女7名の選手を派遣し、女子団体金メダル・男子団体銅メダル・個人男子単銅メダルと48年振りの金・銅メダル獲得に貢献しました。目標は男女とも、2020年の東京オリンピックでのメダル獲得、更に精進を重ねてまいります。

試合結果



3/24・25
TOP4 TOURNAMENT
団体優勝



8/19～28
第18回アジア競技大会2018
日本女子団体(大堀選手)優勝



9/1～5
第61回全日本社会人選手権大会
保木・小林ペア優勝、
金子・久保田ペア、下農選手準優勝



7/10～15
タイオープン2018
園田・嘉村ペア優勝



8/19～28
第18回アジア競技大会2018
日本男子団体3位



9/19～23
シドニー国際選手権2018
武下選手優勝

- S/Jリーグ2017/優勝(2連覇)
- マレーシアマスターズ2018/準優勝
- アジア団体選手権2018/優勝
- スイスオープン2018/準優勝
- 第64回富山県実業団選手権大会/優勝(29年連続)
- 2018大阪国際選手権大会/準優勝
- 第47回北信越実業団選手権大会/優勝(28年連続)
- 2018日本ランキングサーキット大会/優勝
- 第68回全日本実業団選手権大会/優勝(11回目)
- マレーシアオープン2018/優勝
- 秋田マスターズ2018/優勝
- 第24回世界バドミントン選手権大会/準優勝
- ダイハツヨネックスジャパンオープン2018/3位
- サウスオーストラリア国際選手権2018/準優勝・3位
- 韓国オープン2018/準優勝
- 台北オープン2018/準優勝
- 国民体育大会/優勝(3連覇)
- デンマークオープン2018/準優勝
- インドネシア国際選手権大会2018/優勝

国民体育大会3連覇達成

福井県勝山市で行われた第73回国民体育大会【福井しあわせ元気国体】バドミントン競技会成年男子の部で3年連続優勝(3連覇)を達成、富山県の男女総合成績上位進出に貢献しました。過去に富山県成年男子としては15回目、当社単独チームでは13回目の優勝となりました。

国民体育大会は、夏と冬の種目で40競技開催され、県民挙げて取り組むスポーツ一大イベントです。富山県や高岡市からの大声援を力に変えて卓越したプレーを展開しての快挙でした。



富山マラソン2018に協賛

トナミ運輸では、2018年10月28日に開催された「富山マラソン2018」にブロンズパートナーとして協賛しました。当日はあいにくの天気でしたが、国内外のランナー1万3718人が参加しました。

富山マラソンは、県民参加型のマラソン大会で、フルマラソン・車いす・ジョギングの3種目があり、「ものづくりの街」高岡市から「海と大地の恵み」の射水市、「環境未来都市」の富山市と3市にまたがることで富山県の自然を楽しみながらのコースと、県内約30団体による沿道でのダンスやブラスバンド演奏、伝統芸能など、個性あふれる応援が魅力となっています。

当社は、ランナーの手荷物の積み込み、引き渡し、他、各給水ポイントへのドリンクや「鱒ずし」「かまぼこ」などの食品配給と引取りを行い、運営スタッフとしても応援・参加しました。

2019年大会でも引き続き応援していきます。

富山マラソン2018で
使用したトラックの台数

44台

派遣した
スタッフ

120名



富山マラソン2018
スタート地点



参加者の手荷物積み込み

プロ・アマスポーツチームへの協賛

トナミホールディングスグループは、地域貢献活動の一環として、さまざまなスポーツチームを支援しています。

富山グラウジーズ【バスケットボール】



富山県富山市を本拠地として
Bリーグに所属するプロバスケットボールチームです。

©TOYAMA GROUSES

富山GRNサンダーバース【野球】



プロ野球独立リーグ・ベースボール・チャレンジ・リーグに所属する富山県のプロ野球チームです。

アランマーレ女子ハンドボールチーム【ハンドボール】



富山県射水市を拠点とし、日本ハンドボールリーグに所属している女子ハンドボールチームです。

カタレ富山【サッカー】



富山県をホームタウンとする、Jリーグに加盟する ©KATALLER TOYAMA プロサッカーチームです。

KUROBEアクアフェアリーズ【バレーボール】



富山県黒部市を本拠地として、Vリーグに所属している女子バレーボールチームです。

サウルコス福井【サッカー】



福井県福井市を本拠地とする社会人サッカーチームで、Jリーグ加盟を目指しているチームです。

トナミタイランドの活動

トナミタイランドでは、バンコク富山県人会に加盟しており、2017年12月27日にタイ東北部 Roi Et の小中一貫校を訪問し、サッカーボールやバレーボールなどの運動具を寄贈しました。

タイは中学校までは義務教育ですが、学校に通うのに必要な学費が払えず、学校に行けない子どもたちがたくさんいます。バンコク富山県人会は、毎月の例会や催しの都度、義援金を募り、タイの慈善団体EDFを通じて、現在まで17名の恵まれない子どもたちを学校に通わせています。

タイの地で社を構え、物流を通じてサービスを提供

している当社は、感謝の気持ちを忘れることなく、タイの皆さんに貢献できる企業を目指していきます。



運動具の寄贈

こども110番のいえ

京神倉庫では、京都府警からの要請、地域との共生及びこどもの安全確保の趣旨から10年以上にわたり「こども110番のいえ」に賛同し協力しています。

今後も地域の皆様と共生することで企業の社会的責任 (CSR) に取り組んで参ります。



こども110番のいえ

地域清掃活動

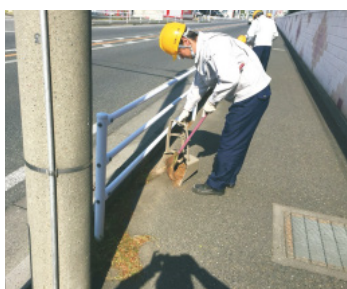
当社グループでは、地域環境保全のため、社会の一員として地域の清掃活動に積極的に参加しています。

今後も地域清掃活動を通じ、社会に貢献し、多くの方々から認められる会社となるよう、努力してまいります。

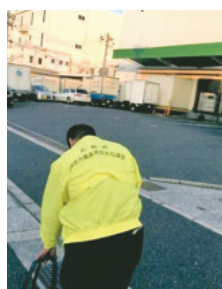
会社名	活動内容	会社名	活動内容
トナミ運輸	高岡市アダプトプログラムへ参加	福井トナミ運輸	周辺道路清掃活動・雑草刈り
	周辺道路清掃活動		大津貨物運送事業協同組合清掃活動へ参加
	「熊谷工業団地クリーン作戦」へ参加	矢放町町内社会奉仕活動へ参加	
	青井谷流通センター内小杉敷地外周清掃	阿南自動車	諏訪湖アダプトプログラムへ参加
	川ざらい・雑草刈り	北関東トナミ運輸	フジクラダイヤケーブール斉清掃活動へ参加
	「国道一号線バイパス清掃」へ参加		周辺道路清掃活動
	「トラックの日道路清掃活動」へ参加	トナミ国際物流	山下公園通り海側歩道の清掃美化作業ボランティアへ参加
トナミ運輸信越	道の駅「いが」清掃活動へ参加	京神倉庫	周辺道路清掃活動・雑草刈り
	「アドプト・ロード」へ参加(ターミナル周辺道路清掃活動)	神戸流通団地クリーンキャンペーンへ参加	
トナミ運輸中国	「アドプト・ロード」へ参加(ターミナル周辺道路清掃活動)	トナミ商事	周辺道路清掃活動
石川トナミ運輸	「新潟バイパス・竹尾インター清掃」へ参加	中央冷蔵	周辺道路清掃活動
	周辺道路清掃活動		広島市西部冷蔵庫団地協議会主催の「合同清掃活動」へ参加
	石川県トラック協会「トラックの日クリーン作戦」へ参加		



周辺道路側溝清掃(トナミ運輸)



周辺道路清掃(北関東トナミ運輸)



周辺道路清掃(中央冷蔵)



諏訪湖周辺清掃(阿南自動車)

インターンシップ

14歳の挑戦

トナミ運輸では砺波支店と小矢部流通センターの2事業所で、それぞれ3〜4名の中学生の職場体験を受け入れました。これは、富山県が中学2年生全員を対象に「社会に学ぶ“14歳の挑戦”」という職場体験活動を実施しており、この職場体験を通じて、子どもたちが、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けることを目的とした活動に賛同し協力しているものです。

体験内容はピッキング作業や構内作業が主なものです。

子どもたちの感想からは、仕事の難しさはもちろん、「分からなくて困ったときに親切に教えてもらったので、

困っている人がいたら助けてあげる人になりたい」「積極的に挨拶したい」といった声がありました。

職場体験を通じてたくましく育った子どもたちが、近い将来活躍してくれることを願いながら、これからも見守り、応援していきたいと思っています。



小矢部市立蟹谷中学校の子供たち

物流連インターンシップ

トナミ運輸では、2018年8月26日〜30日に開催された、『物流業界インターンシップ』に参加しました。



浦和流通センターでの作業体験

これは、物流業の社会的重要性を知ってもらう・将来の人材確保に寄与したい、という目的で実施されています。

今回は浦和支店・浦和流通センターにて、業界

説明・現場見学・実際に現場作業を体験していただき、2日間の受け入れで合計6名の学生に参加をしていただきました。

このイベントを通して物流のインフラとしての役割を広く学生に知ってもらい、物流業界の重要性を感じていただくことが、業界の将来の発展にもつながることになると考えています。今後も参加することで、業界の将来を担える人材を育成し、物流への理解を深めるために活動を続けていきます。

障がい者職場体験

トナミ運輸 富山流通センターでは、障がい者就労支援の場として、毎月1回、2〜3名の方に段ボールの組み立て作業を体験していただいています。

これは、障がい者の方に、働くことを体験していただき、その職場での対応力を高め、結果、就職活動につなげることを目的とした訓練です。

この訓練を行っていた方の中から1名を、10月より当社契約社員として採用しました。今後もこの活動

を通じて、障がい者の方をやさしく積極的に支援し続けていきたいと思っています。



障がい者トライヤル

出前授業の実施



和倉小学校での環境学習

アルハイテックが会員として所属している一般社団法人北陸グリーンエネルギー研究会が石川県七尾市の和倉小学校から環境学習の出前授業

の要請を受けました。

2018年9月21日に石川県地球温暖化防止活動推進員でもある当社社員が講師として、6年生を相手に「環境活動について学ぼう」と題して、アルミ付き紙パックの回収の取り組みなどについての授業を行いました。アルミ付き紙パックから取り出したアルミを使って発電する実演を行うなどして、リサイクルに関する理解を深めてもらいました。

環境マネジメント

私たちは、安全で確実・迅速な輸送サービスをお客様に提供し、ご満足いただくことが第一の使命であると考えます。同時に私たちを取り巻く環境問題についても、私たちにふさわしい責任を果たすことを目指します。

環境方針

トナミ運輸は、環境活動を推進するための環境マネジメントに取り組んでいます。次の環境方針を定め、さまざまな活動に目標を持ち、結果を見直し、継続的改善に向けて、体制強化に努めています。

地球環境を守る事は、あらゆる生命の生存に関わる最重要テーマであると認識し、「輸送を通じ社会に寄与し、地球環境の保全に努める」を基本理念として、以下の方針に基づいて取り組みます。

- 1 輸送サービスを提供することによって生じる環境汚染に対して、次の事を守ります。**
 - ①環境に優しい車の導入を図ります。
 - ②エコドライブの実践に取組みます。
 - ③物流の効率化を通じて、地球環境に優しい物流システムを構築します。
 - ④リサイクルシステムを構築し、循環型社会づくりに貢献します。
 - ⑤環境に優しい商品の開発、提供を推進します。
 - ⑥省資源、省エネルギーに継続的に取り組み、日々、改善を図ります。
- 2 環境に関する国・地方自治体等の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、環境保全に努めます。**
- 3 環境目的及び環境目標を具体的に定め、定期的にレビューを実施し、環境マネジメントシステムの継続的な改善を致します。**
- 4 社内環境教育、啓発活動を通して全従業員に本方針を周知すると共に、一般にも公開し、さらに、地域社会への環境保全活動に積極的に参加します。**

環境負荷軽減への取り組み

当社グループは、「Do Eco!」をスローガンに社員一人ひとりが日常、気軽にできる5つの取り組みを設定しています。

5つの取り組み

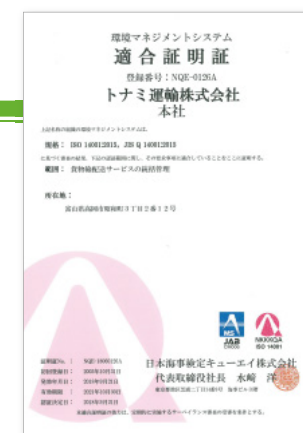
- 1 省電力の推進
- 2 コピー用紙使用量の削減
- 3 ゴミ分別の徹底
- 4 安全な走行を心掛けよう
- 5 アイドリングストップの実施



ISO14001 (環境マネジメントシステム) の活動

トナミ運輸は、2003年10月、本社において環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以来14年間、毎年の定期審査と3年ごとの更新審査において、基準に適合していることを認証されています。

今後も環境負荷軽減のための目標を設定し、1.Plan (計画) 2.Do (実行) 3.Check (点検) 4.Action (見直し) を繰り返すことによって、その達成に向けた取り組みを実践し、継続的改善をはかっていきます。



ISO14001適合証明証

グリーン経営認証の取得状況

当社グループの物流事業会社6社は、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が運営しているグリーン経営認証制度において適合していることを認証されています。今後もグリーン経営推進マニュアルに基づきエコドライブや低公害車の導入などの取り組みを実施しながら、物流における環境保全の実効性向上につなげていきます。

グリーン経営認証取得会社一覧

- トナミ運輸 2事業所
- 北陸トナミ運輸
- 京神倉庫 2事業所
- 福井トナミ運輸 1事業所
- 阿南自動車 7事業所
- 北海道トナミ運輸 5事業所



グリーン経営認証登録証

各種省エネ設備の導入

太陽光発電

トナミ運輸は、久喜支店および富士支店に太陽光発電を導入しました。

久喜支店の月間電気使用量は約46,500kWhですが、そのうち約900kWhを太陽光により賄っています。富士支店も同レベルの発電をしています。

今後建設を予定している支店においても太陽光発電を積極的に導入する予定です。



富士支店の太陽光パネル

屋上緑化設備

トナミ運輸は、節電対策の1つとして、川崎支店の睡眠室棟に屋上緑化を採用しました。夏場は外からの熱流入を81%カットし、冬場は室内からの熱放出を45%カットできる点が特徴となっています。このためエアコンの使用量が減り、年間2,600kWhの節電と1.8t-CO₂排出量の削減をしています。



屋上緑化

省エネ照明の導入

当社グループでは、「エネルギー使用合理化支援事業者補助金」制度を利用し、2009年1月に浦和支店全館、2011年2月に大阪中央支店全館に省エネ設備(照明器具)を導入しました。

また、2014年度から全国19のトラックターミナルおよび倉庫にLED照明を導入しました。

これらの省エネ設備の導入により、電気使用量で約1,000,000kWh/年(推計)の節電とCO₂排出量で410t-CO₂削減することができました。

今後も継続してLED照明の導入を行っていきます。

地球温暖化防止・ 大気汚染防止

CO₂などを中心とする温室効果ガスの増加は、地球温暖化に大きく影響します。低公害車の導入や、輸送の効率化、各種省エネ設備の導入など、温室効果ガス削減のための取り組みを積極的に進めています。

CO₂排出量の削減に向けて

トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、エコドライブの実践や低公害車や省エネ設備の導入など環境負荷低減への取り組みを進めた結果、2017年度のCO₂総排出量は、102,232t-CO₂となりました。

また、エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)において特定貨物輸送事業者として、貨物

輸送のために使用した燃料から発生するCO₂総排出量を2021年度までに2016年度比で5.5%削減することを目標にし、4つの項目に取り組んでいます。

その結果2017年度のCO₂総排出量は82,500t-CO₂となり、2016年度の82,700t-CO₂と比較して約0.2%削減することができました。

2012～2017年度CO₂排出量(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国全事業所と全車両(リフト含む)対象) (単位:t-CO₂)

使用エネルギー	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2016年度比
軽油	89,516	89,139	85,785	84,459	85,130	85,432	100.4%
ガソリン	1,255	1,190	1,131	991	1,083	947	87.4%
A重油	235	235	247	263	248	282	113.7%
LPG(リフト)	813	847	762	729	788	749	95.1%
CNG	2,240	2,379	2,456	2,502	2,549	2,470	96.9%
LPG(湯沸)	448	395	360	324	299	312	104.3%
灯油	387	266	229	239	271	187	69%
都市ガス	52	40	38	39	34	30	88.2%
電力	12,191	13,719	13,128	12,323	12,399	11,825	95.4%
CO ₂ 総排出量	107,137	108,210	104,136	101,868	102,802	102,232	99.4%
そのうち輸送に伴うCO ₂ 総排出量	89,300	88,000	84,400	82,000	82,700	82,500	99.8%

※温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧(2010.3改正)参照

2017～2021年度の取り組み(特定貨物輸送事業者として)

取り組み項目	期待効果	進捗状況(2017年度)
エコドライブの実践 全車両/燃費3%の向上	原単位3.0%向上 (2,054t-CO ₂ 削減)	デジタル式運行記録計の活用や エコドライブ教育等を継続的に実施中
輸配送コースの見直し 実車率の向上(運行車1運行5km、集配車10km/月)	原単位1.0%向上 (678t-CO ₂ 削減)	車両の走行キロ削減等の効率化を推進中
輸送効率の改善 積載率1%の向上	原単位1.0%向上 (471t-CO ₂ 削減)	車両積載率96.8%(2016年度比0.1%向上)
モーダルシフトの実施 長距離運行系統 (東京～広島)の鉄道コンテナ化	原単位0.5%向上 (500t-CO ₂ 削減)	鉄道によるコンテナ輸送継続実施中

環境にやさしいトラックの導入

日本初「大型LNGトラックの走行試験」開始!!

トナミ運輸は、環境省の事業に基づく「低炭素社会の実現へ向けた大型LNGトラック活用の第一歩」として、2018年6月上旬からの「東京-大阪間の実証走行試験に協力」しています。

燃料のLNG(液化天然ガス)の供給が関東で初めて開始されることとなり、2018年9月13日に、京浜トラックターミナル(大田区平和島)の給油ステーションで、大型LNGトラックへの充填式が行われました。



LNGトラック



LNG充填中のトラック

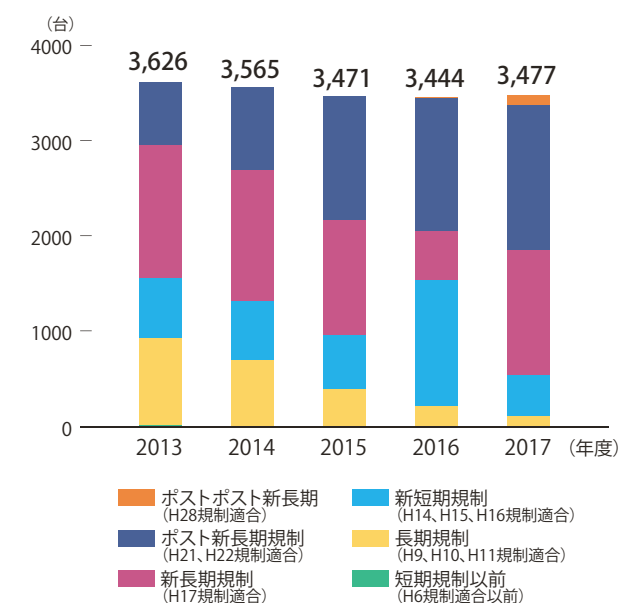
トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国は、輸送に関わるNOx、PMなどの大気汚染物質削減をはかるため、環境に配慮したトラックを導入しています。2017年度は新たに226台を導入し、そのうち天然ガス自動車(CNG車)は12台導入しました。



天然ガス自動車

トラック保有実績の推移

(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



エコドライブの実践

エコドライブとは、一言で言うと「環境に配慮した経済運転」のことです。

やさしい発進を心がけたり、無駄なアイドリングを止める等を行って燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を減らす運転を実践しています。

燃料節減取組運動

エコドライブとは



エコドライブがもたらす効果



保持軒向上目標

運行車	保持軒100m/2伸張 燃料消費35kℓ/月削減した場合→360万円の削減
集配車	保持軒50m/2伸張 燃料消費6kℓ/月削減した場合→60万円の削減

燃料節減取組運動で燃料費がトータル420万円/月の削減に繋がります

TONAMI

燃料節減取組運動ポスター

「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

トナミ運輸労働組合では、組合結成70周年を迎えたことを機に、2016年より森づくり活動を通じて、CO₂削減による地球温暖化防止および荒廃しつつある里山再生に貢献する活動を行っています。初年度に苗木250本を植栽し、以降定期的に補植や除草、水やりなどを実施しています。2018年7月21日には桜50本、コナラ10本の補植と草刈り等を行いました。参加した80名は、酷暑の中、汗を流し一生懸命取り組みました。将来にわたりこの活動を継続し、社会貢献活動に力を注いでいきます。



エコドライブ推進の取り組み

エコドライブは、「地球環境にやさしい」「燃料費の節約」「安全運転につながる」「車両にやさしい」と、一石四鳥であることをドライバーの一人ひとりが認識し、その結果は、社内表彰制度で、エコドライブ成績優秀者を表彰しています。

駐停車時はアイドリングストップ

アイドリングストップは、自動車の燃料消費量を抑え、CO₂排出量を削減します。当社グループでは、アイドリングストップワイヤー（キー抜きロープ）をすべての集配ドライバーに携帯させ、短時間車を離れる際も、必ずエンジンをストップするようにしています。

エコドライブ教育

トナミ運輸は、ドライバー研修や新入社員教育時に、省燃費運転、自動車の適切な点検・整備の仕方、省燃費運転の注意事項について周知徹底をはかっています。また、社会活動の要請を受け、『エコドライブと交通安全』について講師を派遣し、地域社会のエコドライブへの取り組みに協力しています。



「トナミの森」CO₂排出量削減・里山再生プロジェクト

参加者コメント



トナミ運輸 加古川支店
川見 知成

地球温暖化防止と里山の再生を目的とした社会貢献活動も、3年目となりました。今年は冬に豪雪があり、無事であるか心配しましたが、しっかりと成長した木々を確認することができ、安心しました。中には小さいながらも実になっている木もありました。今後も苗木の補植と草刈りを継続して、地域の皆様と共に活動していきます。

廃棄物削減への取り組み

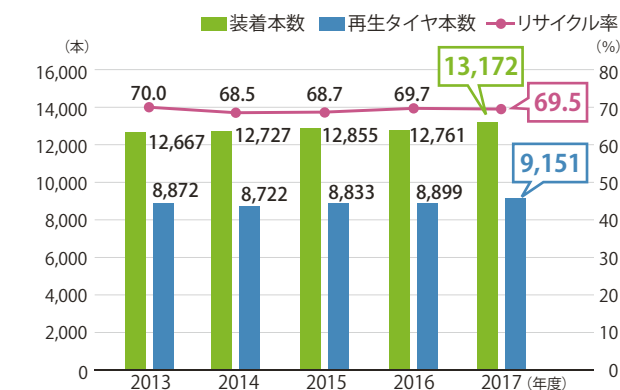
廃棄物削減に向けて従来の取り組みを見直し、継続的改善に努め、ゴミ減量化とリサイクルの推進を行っています。

使用済みタイヤのリサイクル

当社グループは、資源の有効利用をはかるため、使用済みタイヤはすべて再生タイヤメーカーに引き取ってもらっています。また、積極的に再生タイヤを使用しています。

使用済みタイヤのリサイクル実績の推移

(トナミ運輸・トナミ運輸信越・トナミ運輸中国)



使用済コピー用紙・ラップ・ダンボールのリサイクル

当社グループでは、使用済コピー用紙は裏面利用の徹底をはかっており、機密文書については、各事業所に設置してあるエコポストへ入れる習慣を身に付けています。エコポストに入っている「エコロック」というダンボールは、万全なセキュリティ体制のもと輸送され、消滅処理を行ったのちリサイクル製品へと生まれ変わります。

また、荷物の運搬や梱包に使用したラップやダンボール等を分別して収集し、特定の業者に依頼しリサイクルを推進しています。



廃アルミのリサイクル

「再エネ+水素」セミナー・ワークショップに参加

2018年7月13日に富山県高岡市で富山県内の水素に関連する4団体が水素エネルギーの普及・促進について考えるセミナーとワークショップが開催されました。

セミナーでは、アルハitekより小型水素発生装置などに関する講演を行いました。また、ワークシ

ョップではアルミから発生させた水素で燃料電池の実験キットを稼働させ参加者の理解を深めました。



再エネ水素ワークショップ

「とやま水素DAY」に出展

2018年10月15日に富山県で開かれた水素エネルギーの導入推進を目指すイベント「とやま水素DAY」にアルハitekが出展をしました。廃アルミから水素を発生させる世界初のアルハitekの技術が

地元富山県での水素社会化の一翼を担うことが期待されています。



とやま水素DAY

「とやま水素エネルギービジョン」に取り上げられる

富山県における水素社会化に向けた目指すべきビジョンである「とやま水素エネルギービジョン」が2018年3月27日に発表されました。その中では、アルハitekが開発したアルミの廃棄物から水素を

製造することができる技術が取り上げられました。富山県での水素サプライチェーンの構築にアルミ系廃棄物からの水素が活用されることが盛り込まれています。

ご参照 富山県ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1301/kj00019040.html

人材育成と働きやすい 職場づくりを目指して

人事制度、教育制度により、個々の人材を伸ばし、また、職場の安全確保、社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、社員一人ひとりが活躍できる職場づくりを奨励しています。

TOPICS

働き方改革の取り組み

トナミ運輸は、『持続的な成長企業への進化!!』をスローガンとする「中期経営3ヵ年計画※」において、働き方改革を事業展開の柱に据え、部門や会社全体の業務改善活動および日々のマネジメント見直しのための推進体制を設置し、「働きやすい職場環境づくり」に取り組んでいます。

※2018年4月1日～2021年3月31日

主として、

- (1) 業務行程の見直しによる基幹システムの改善。
- (2) 管理部門の効率化による生産性向上。
- (3) 新しい働き方に向けた、働き方環境の見直しの推進。

を展開の要とし、社員も企業も成長し続ける企業体を目指してまいります。

メンター・メンティ制度

トナミ運輸では、新入社員の早期離職を防止するため、特定の先輩社員を新社員にメンターとして設定し、仕事やプライベートの相談、メンタル面のサポートなど、新入社員をフォローできるよう、2017年4月からメンター制度を導入しています。

この制度を導入して2年目になりますが、単なる離職防止策ではなく、人と人との繋がりが重要な物流業界において、相手と良い人間関係を築くための一助にもなっています。

メンターに設定された人の意識の高まりをはじめ、

メンティとして支えられた社員が、また新たに入社した人を支えていくことで、仕事への良い影響が生まれる循環ができています。

この結果、早期離職者は昨年に比べて減少しており、取り組みをより推進していくことで、トナミ運輸の将来に繋がっていく制度であると期待しています。



指導の様子

参加者コメント メンター



トナミ運輸 金沢支店
橋田 佳那子

メンターとして、新入社員が孤立しないよう、どのようにしたら仕事がしやすくなるかを特に考えて取り組みました。また、そのようにして相手と接することにより自らの先輩社員としての意識を高めることができました。信頼をおける人間関係を築くことで互いの仕事へのモチベーション向上にも繋がれると思います。

参加者コメント メンティ



トナミ運輸 金沢支店
高畑 日奈子

入社してから、職場に馴染めるかなどさまざまな不安がありましたが、メンターの先輩がいっぱしゃって、いつでも相談に乗っていただけたので、とても心強かったです。また、目標となる先輩が近くにいることで、自分も積極的に仕事に取り組むことができています。

育児休暇を取得して

2014年12月から翌年4月と2017年1月から翌年4月の2回育児休業を取得し、現在時短勤務制度を使用し働いています。2時間短縮なので、業務の時間配分が難しいのですが、集中し、やり方を工夫することにより、作業効率が上がった気がしています。

また、部署内での引継ぎ・業務分担も考慮してもらい、子どもの急病時も作成したマニュアルを基に上司に業務をお願いすることもあります。「もうすぐ帰るよね?明日でもいいよ!」と

トナミ運輸 東京本部 原山 加奈

声をかけてもらうことも多くなり、職場の皆の協力を感じ、とても感謝しています。復帰後新たな業務も担当することになり、自身のスキルアップを目標に持ち、やりがいを日々感じています。

休日は、公園で子どもたちと楽しく汗を流しリフレッシュできています。これからも、ワークライフバランスの取れた生活ができるといいなと思っています。



健康経営の推進

トナミ運輸は、健康経営に取り組むことを宣言しています。

全事業所に「健康企業宣言」ポスターを掲示し、「社員の健康は会社の財産である」との考えを基に、社員の健康保持・推進を支えるため、生活習慣改善、がん予防、脳MRI健診、メンタルヘルス対策などさまざまな施策を実施しています。

定期健康診断等

定期健康診断については、雇い入れ時、特定業務従事者等を法令に則り実施しており、受診率はほぼ100%となっています。

なお、特定健康診査については、35歳以上を対象とし早期から生活習慣病の対策を講じています。

定期健康診断後の対応

健診結果放置による重症化予防のため、血圧、血糖値がドライバーの乗務基準数値を上回る二次検診未受診者に対して、産業医・人事部長連名で受診勧奨を実施し、二次健診受診率100%を目指しています。

脳MRI健診

脳血管疾患に起因する事故を防止する目的で、50歳の節目年齢の長距離ドライバーを対象に、脳MRI健診を実施しています。

平成30年度対象者は105名で、一般社団法人 運転従事者脳MRI健診支援機構が提携する全国139医療機関で受診しています。

特定保健指導

協会けんぽが実施する40歳以上のメタボ該当者を対象とした特定保健指導の受診率向上のために、全事業所でiPadを使った保健師による遠隔面談を実施しています。

がん検診

35歳以上全員を対象に胃がん検診、大腸がん検診を実施しています。

婦人科健診

偶数年齢対象者に子宮頸がん検診、40歳以上の偶数年齢対象者に乳がん検診を実施しています。

メンタルヘルスの取組み

①ストレスチェック実施

全社員を対象に、年1回ストレスチェックを実施しています。2018年度受検率は79.2%でした。仕事や職場環境に対する不安や悩み等ストレスを感じている社員を対象とした外部カウンセラーによるメンタルヘルスカウンセリングや産業医による面談を実施しています。

また、職場の集団分析結果を活用し職場環境改善を進め、2018年度は、職場環境改善計画助成金の申請を目指しています。

②心の健康づくり表明

わが社のメンタルサポートとして、全事業所にポスターを掲示しています。

社員の心の健康管理への取り組みと実施について評価をいただき、独立行政法人 労働者健康安全機構より、平成29年度心の健康づくり計画助成金交付を受けました。



健康企業宣言 宣言証

LEDランプ付リフトの導入

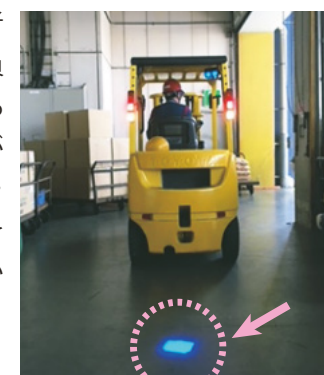
平成30年4月1日より民間企業の法定雇用率が2.0%から2.2%に引き上げとなり、障がい者の雇用を確保することは企業の大切な役割となっています。

トナミ運輸ではハローワーク等で主催される障がい者向けの就職イベントへの参加や、障がい者の方の安全に配慮した職場環境の整備を行っています。

聴覚障がいを持つ社員が勤務する職場では、作業機器の接近がすぐ分かるように、フォークリフトにブルーのLED描画ランプを設置しています。音が聞こえない社員はもちろん、障がいを持たない一般

の社員も安全に作業に取り組めると高評価です。

この他にも障がい者職業生活相談員の増員を行っており、これからも障がいを持つ社員が長く働ける安心・安全・安定した職場づくりを積極的に推進してまいります。



LEDランプ

安全な社会づくりを目指して

トナミホールディングスグループの交通事故防止への取り組みは、事業の中だけでなく地域社会にまで展開し、安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

輸送の安全に関する基本的な方針

トナミホールディングスグループは、輸送の安全に関する基本的な方針を設定しています。

- ① 当社の安全衛生は、従業員の生活と安全を守ることを基本とする
- ② 常に安全・確実・迅速なサービスを提供する
- ③ 交通事故のない社会を作り上げるための牽引車となるべき行動を取る
- ④ あらゆる機会を利用し、地域の安全推進企業として社会に信頼されるよう模範行動に徹する

安全管理体制

当社グループの運送事業会社は、会社ごとに交通事故防止や労働災害防止などを目標として、事故防止安全衛生推進委員会組織を設置し、常に多様な課題に対して討議を行いながら、安全面・衛生面の向上に取り組んでいます。

また、交通安全の取り組みは、PDCAサイクルを回し、継続的な改善を実施することによって、次年度の取り組みにつなげています。

安全管理強化システム

事故防止の強化をはかるため、乗務員一人ひとりに3段階評価を実施し、結果に応じた指導を行う「安全管理強化システム」を推進しています。

- 1 社内規則の遵守状況点検
- 2 運転指導票の発行
- 3 指導教育

運転適性診断車「あんぜん号」

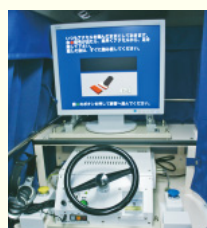


あんぜん号

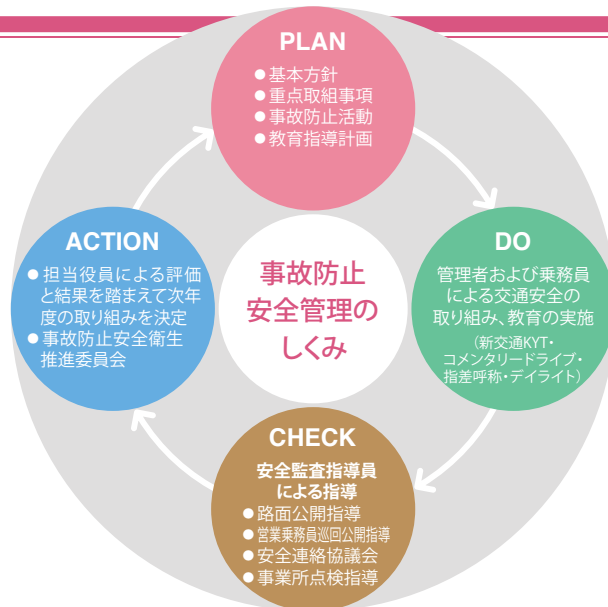
営業用車両の管理については、日常的に法令を遵守することを基本に、ドライバーとしての適格性を確保・安全運行に努めることを責務として業務に取り組んでいます。

その一環として、あんぜん号の事業所巡回による運転適性診断指導を行っています。

今後とも、ドライバーの一層の安全適性の確保に努め、運送事業者としての社会的責任を担っていきます。また、地域の交通安全指導にも貢献していきます。



運転適性検査器



トナミホールディングスグループ安全会議

2013年から運送事業会社を対象にして、四半期ごとに「トナミホールディングスグループ安全会議」を年4回開催しています。

各社の交通事故防止取り組みの強化とグループ全体の安全水準の向上を目的とし、安全会議では、各社の事故防止対策と取り組み結果、運輸安全マネジメントの推進状況の確認、各分野の専門講師を招聘しての講演会実施等、グループ各社で情報を共有化して、トナミホールディングスグループの一員としての自覚と意識向上をはかっています。

新入ドライバーの安全教育

トナミホールディングスグループの物流事業会社は、ドライバーの新入社員安全教育として、自動車学校の教習コースを使い安全指導員によるトラック運転技術、整備検査員による車両点検などの安全教育研修を行っています。

研修では、トラックドライバーとしての営業知識や任務についての講義のほか、国土交通省の教育指針に合わせ、トラックの特性による死角や内輪差、夜間の目測・



近年、若年者や勤続年数の浅い乗務員による「交差点での知覚不全事故」が増加傾向にあるため、グループ各社の安全教育と指導強化、あんぜん号によるグループ各社の乗務員の運転適性診断等を実施し、「安全最優先の職場づくり」と「法令遵守」を徹底しています。

安心・安全な輸送を提供する「トナミブランド」を確立して、社会に信頼される企業を目指して取り組んでいます。

色別の体験教育や健康管理など、プロドライバーとしての自覚と事故の未然防止のための運転行動及び安全運転のための留意点等について教育しています。

また、性格検査結果による運転指導やアンケートによるメンタルケアにも取り組んでいます。



安全性優良事業所(Gマーク)

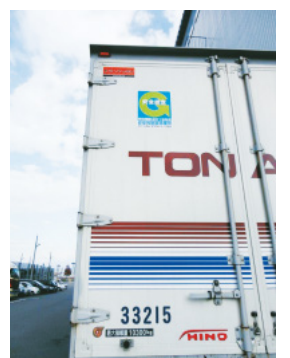
当社グループでは、公益社団法人全日本トラック協会が認定する、安全性優良事業所(Gマーク)の取得を推進しています。

Gマークを取得することにより、お客様に安心して当社グループを利用していただく基準となるとともに、トナミホールディングスグループ全体の安全性の向上に対する意識を高めるための環境整備を図るという目的があります。

今後はさらにこの取り組みを推進し、より高い安全性を追求していきます。



安全性優良事業所認定証



ハイウェイレディ

トナミ運輸は、富山県高速道路交通安全協議会の委託を受けて、当社社員をハイウェイレディとして派遣し、高速道路を利用するドライバーなどの交通安全意識の向上を目的に、富山県内のインターチェンジやサービスエリアで安全運転を呼びかけています。

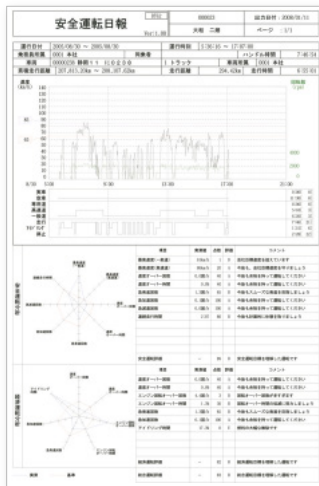


有磯海サービスエリアにて交通事故絶滅運動実施

デジタル式運行記録計の活用

当社グループは、デジタル式運行記録計*を導入し、車両に装着しています。

このシステムの導入により、危険運転や事故発生の記録はもちろん、安全運転の証明もできるようになり、交通事故防止だけでなく、模範運転について指導ができるようになりました。



運転日誌

*デジタル式運行記録計は、時間・距離・速度の3要素を含むすべてのデータを数値で記録をとり、画像での解析・表示ができます。

危険予知訓練

当社グループは、ドライバーの危険感受性を高めることを目的として、日々の出発前点呼時にKYT（危険予知訓練）を行っています。運転中にひそむ危険要因とそれを引き起こす現象を、写真を使って指差唱和・指差呼称で確認し、考え合いながら、行動する前に解決できるよう訓練しています。



物流品質向上のための社員への教育

トナミ運輸は、総合物流企業として社会に寄与し、常に安全、確実、迅速なサービスを提供し、顧客ニーズに対応しています。

物流サービスの提供に当たっては、効率化をはかり、さらにより高い品質を目指し、事業が絶えず成長を続けるため、品質方針に基づいて行動します。

“会社主導”の取り組みから“現場が主役”の取り組みへ社員一人ひとりが自ら考え、行動する生きた組織を目標とし、日々社員の意識向上のための取り組みを推進しています。

ISO 9001/2015年版へ移行完了

トナミ運輸では、顧客満足度の向上を目的として、2000年10月から日本海事検定キューエイより品質マネジメントシステムISO9001の認証を受けてきました。

2015年9月に国際標準化機構が品質マネジメントシステムISO9001を改訂したことに伴い、当社は2017年12月に品質マニュアルをISO9001/2015年版に準拠した内容に改訂し、日本海事検定キューエイにて本年6月に移行審査を受け、7月に適合認証されました。

ドライブレコーダーの導入

当社グループでは、ドライブレコーダーの導入を推進しており、グループ全社で約2,500台以上の運行車や集配車に取り付けています。

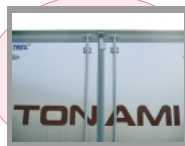
ドライブレコーダーは事故処理時だけでなく、管理者がドライバーの運転画像をチェックして安全運転指導を行い、交通事故防止のために役立っています。



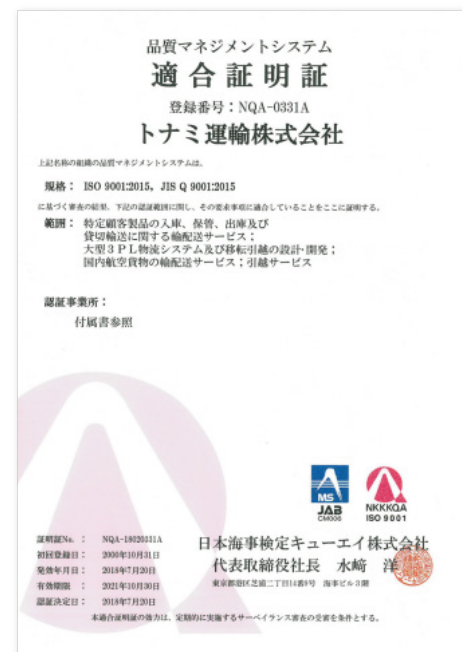
バックカメラの導入

当社グループでは、主に集配車を中心にバックカメラの取り付けを推進しており、現在までに約1,500台以上のトラックに設置を完了しています。

バックカメラを設置することで、後方の安全を明確に確認することが可能となり、後方の追突事故を減少させることができました。



デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーやバックカメラの導入により、ドライバーの安全運転をサポートし、さらなる安全な社会づくりに貢献していきます。



ISO9001適合証明証

トナミ・クオリティ10

トナミ運輸では、物流品質の向上を目指して組織体制を確立し、独自のルール「トナミ・クオリティ10」を作成し、全事業所で展開しています。

1 業界初の「物流品質マイスター」が、全事業所のトナミ品質「標準化」への取り組み

- 物流“安心”づくりの高いノウハウと経験をもつ店所長を、全事業所の品質の標準化と向上をはかることを目的に「物流品質マイスター」として認定する業界初の制度（2009年9月導入）
- マイスターたちが全国の主管支店、店所のおもてなし品質の展開を担っています。



2 事業所の特性に合わせた月次PDCAシートを使い分け、全事業所で毎月、継続的改善

- 全支店・営業所が毎月提出する商品事故防止の取り組みの計画と振り返り結果を、本社・主管支店・保険会社ですべてレビューし、管理の徹底をはかっています。
- 個別に添削指導を行い、より効果的な取り組みを推進しています。



3 現場第一主義（社外の専門家を含む）多様なメンバーでの現場点検指導

- 多層的に現場の改善をはかる仕組み
品質管理部：往診治療（訪問型点検）
業務改善部：入院治療（業務品質そのものの改善をはかる滞在型点検）
物流品質向上委員会：総合治療
- 保険会社のスペシャリストの協力も得て、合同点検を実施しています。



4 現場主体の品質づくりチェーン活動（QC手法）の取り組み

- チェーン活動を導入している支店・営業所では、4つの職種（運行乗務員・営業乗務員・発送担当者・到着担当者）ごとにチームをつくり、各チーム同士、連携しながら店所の品質づくりに取り組んでいます。自ら考え、行動する自発性に基づく本物の現場力が発揮されてきています。



5 プラットホーム上に「24時間監視カメラ」を設置し、商品事故防止に活用・本社からも遠隔監視

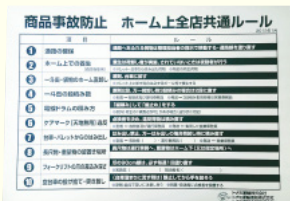
- トラックからの積卸やプラットフォームでの荷扱いの様子（特に深夜早朝）を常時モニタリング・録画し、社員の安全作業指導に役立てる独自の取り組みをしています。（全58店所中、46店所に設置済）
- 最新のネットワークカメラへの移行も進めており、本社からの遠隔監視、指導にも活用しています。（上記のうち43店所はネットワークカメラ導入済）



監視カメラ

6 「全店共通ルール10か条（トナミ・ルール）」による作業品質の全事業所標準化

- 商品事故対策のプロである保険会社の協力を得て、トナミの商品事故パターンを分析。
- 人間工学に基づく最も効果的な対策を10の独自ルールに整理し、全事業所に浸透をはかっています。



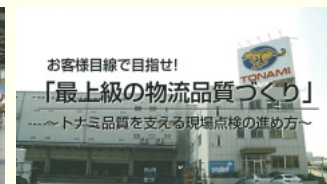
7 プラットホーム上の商品を守る「養生板」を全事業所に配備・活用徹底

- 業界平均の3～6倍の数の養生板（フォークリフトや台車等の他物との接触による破損を防ぐ保護板）をトナミ独自の仕様で全支店・営業所に配備し、活用を徹底しています（全事業所で8,000枚以上）。



8 品質標準化（品質DVDシリーズによる社内研修）

- トナミ品質の標準化（バラツキのない品質づくり）をはかるため、保険会社の協力も得てトナミオリジナルの現場品質づくりのDVDを自主制作。社員教育に活用しています（マイスター編、行動心理学に基づくフォークリフト事故対策編等、6本制作）。



9 トナミ“一貫”品質の提供に向けた他社への働きかけ

- 「異常時の連絡を」というお客様の声に答えるために、当社社員への指導はもちろんのこと、中継（輸送委託）商品の異常発生時の連絡も迅速確実に行うため、関係他社への働きかけにも力を入れています。



10 お客様へ「物流“安心”品質」（運送保険）をご提案・ご提供

- 約款に基づく運送会社の責任の範囲を超える事故や災害でお客様の大切な商品が損害を被った場合でもお客様が一定の補償を受けられる安心をお届けするべく、運送保険を取り扱いお勧めしています。



コーポレート ガバナンス体制

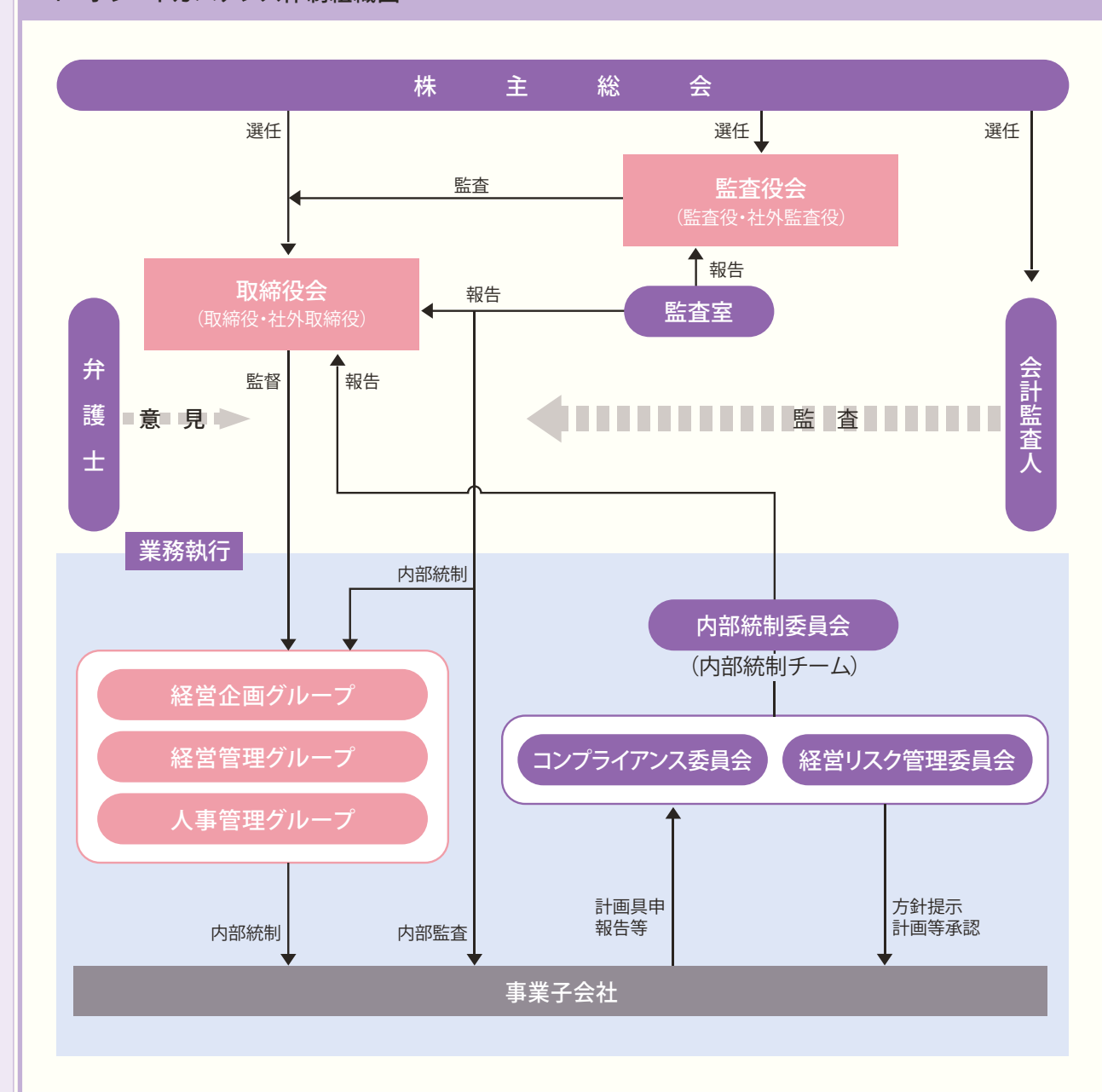
トナミホールディングスグループは、社会・ステークホルダーから信頼される企業としての体制を整備し、事業のさらなる価値創造を目指します。

コーポレートガバナンスの状況

当社の内部統制の基本方針については、2008年10月1日開催の取締役会で決議し、その基本方針に基づき内部統制委員会が中心となって、健全な内部

統制システムの構築をはかり、トナミホールディングスグループの企業価値向上にむけて取り組んでおります。

コーポレートガバナンス体制組織図



1 会社の機関の内容及び内部統制システム

当社は、経営方針及び経営戦略に関わる重要事項を担当する機関として、社外取締役2名を含む9名で構成する取締役会を設置しております。

取締役会は、取締役会規則に基づいて月1回これを開催することを原則とし、その他必要に応じて随時開催して、取締役会の意思疎通をはかるとともに相互に業務執行を監督し、必要に応じて外部の専門家を起用し、法令定款違反行為を未然に防止することといたしております。

また、内部統制構築の一環として、監査役制度を採用しており、常勤監査役2名、社外監査役2名の4名体制で構成し、監査役は取締役会及びその他重要会議への出席や意見の具申等で取締役の適法性について監査しております。

取締役の職務執行については、監査役会の定める監査の方針及び分担に従い、社外監査役を含め各監査役の監査対象となっております。

取締役が他の取締役の法令定款違反行為を発見した場合は、直ちに監査役及び取締役会に報告し是正をはかることとしており、内部監査部門として業務執行部門から独立した監査室を置いております。

2 内部統制システムの整備の状況

当社グループの内部統制システムの整備状況にあたっては、経営リスクマネジメントに関する基本方針を定め、事業子会社の運営に影響を及ぼすおそれのある様々なリスクへの適切な対応を行い、経営基盤の安定化をはかるとともに、万が一、経営リスクが発生した場合の影響を極小化し、当社グループの損失及び社会的損失をできる限り発生させないように取り組んでおります。

さらに、コンプライアンスの重要性を認識し、コンプライアンス委員会を設置し、「トナミグループ社員行動規範」に基づき、トナミホールディングスグループ事業子会社の役員社員に企業倫理と法令遵守を浸透させるため推進担当者を選任し、コンプライアンスに関わる教育説明会を実施しております。

また、企業活動において、あらかじめ違反行為が起こり得る可能性を抽出し、未然防止をはかるよう推進状況を報告させ、違反行為が発生した場合は早期に解決し、再発防止を講ずるコンプライアンス体制を構築しております。

なお、一般株主との利益相反が生じるおそれのない独立役員2名を選任し、外部の視点での取締役会の監督機能の強化をはかることとしております。

さらに、コンプライアンス体制の基礎として「トナミグループ社員行動規範」を定め、意思決定機関として社長を委員長とする内部統制委員会を設置し、内部統制担当役員を中心とする内部統制システムの向上をはかっております。

コンプライアンスの統括組織としてコンプライアンス委員会を設置し、内部統制チーム（監査室内）が内部統制体制の維持・向上のための統括・運営・研修を実施しております。

事業子会社における業務の適正を確保するため、グループ事業子会社すべてに適用する行動指針として「トナミグループ社員行動規範」及び、「グループ運営規程」を定めるとともに、これを基礎として、グループ事業子会社で諸規程を定めております。なお、経営管理については、「グループ会社管理要領」により、承認・報告事項を定め、事業子会社経営の管理を行っております。

なお、取締役会が決定した基本方針に基づき、速やかな業務執行に努めており、経営に関する法令遵守事項等については、必要に応じて公認会計士や弁護士等の専門家から助言を受け参考としております。

そして、「グループ運営規程」を基礎として、グループ事業子会社各社で諸規程を定め、「グループ会社管理要領」により承認・報告事項を定め、事業子会社の経営管理を行うことにより、経営環境の変化に速やかに対応する体制を整え、経営の健全化に努めております。

また、業務執行が適切で効率よく行われているかについては、監査室による内部監査を実施し、監査役及び取締役会に報告を行っております。

反社会的勢力に対しては、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たないこととしております。また、不当要求等の介入に対しては、警察等の外部専門機関との緊密な提携のもと、関係部署が連携・協力して組織的に対応し、利益の供与は絶対行わないこととしております。

法および 社会倫理の遵守

トナミホールディングスグループは、コンプライアンス体制と
リスク管理体制を構築し、誠実かつ透明性の高い経営を目指しています。

コンプライアンス体制の整備

当社グループは、遵法および倫理の観点から、役員・社員が心がけるべき基本事項を、「トナミホールディングスグループ社員行動規範」として定めています。2015年6月には法務部を設置し、法的リスクへの適切

かつ機動的な対応を強化しました。

コーポレートガバナンス体制の一環としてコンプライアンス委員会、その傘下に事業子会社のコンプライアンス部会を設置しています。

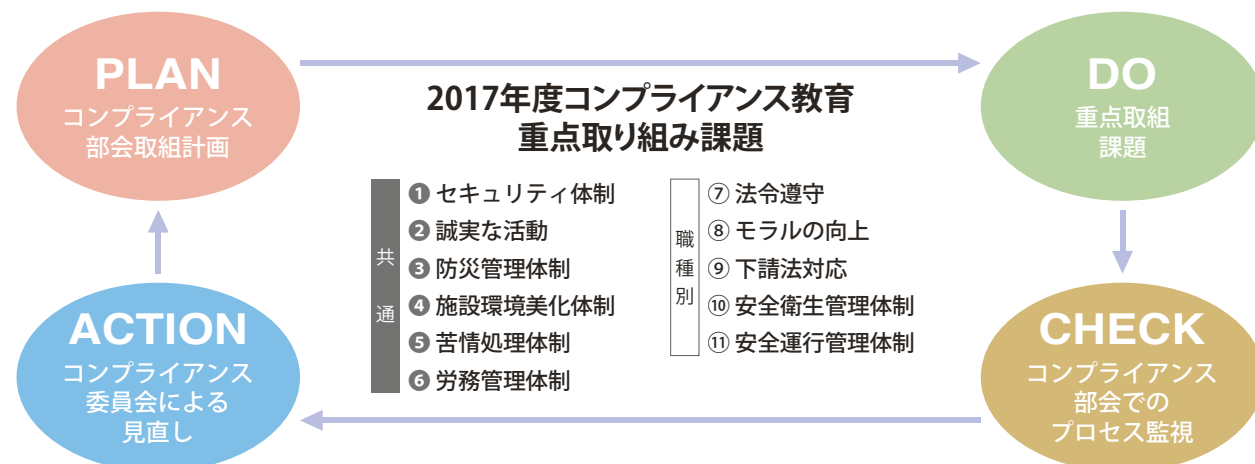
トナミホールディングスグループ社員行動規範

- ① お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ② 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ③ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ④ 公正な企業活動をします。
- ⑤ 整理・整頓を心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ⑥ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ⑦ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ⑧ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ⑨ コンピューター・ネットワークの不正な利用・業務目的以外の使用をしません。

コンプライアンス教育の重点取り組み課題

2017年度のコンプライアンス教育は、社会情勢の変化への適応をはかるために重点取り組み課題を基にして、全職種共通テーマと職種別テーマの11項目について、コンプライアンス委員会の部会ごとに教育を実施しました。

その教育の実施状況について、部会ごとに結果報告を求め、コンプライアンス委員会で評価を行い、マネジメントレビューを実施しました。今後とも定期的にPDCAサイクルを回すことによって継続的にコンプライアンス意識の向上をはかります。



リスク管理体制の整備

当社グループは、経営リスクマネジメント方針を定め、社長を最高責任者とする経営リスク管理委員会を設置し、事業運営に影響を及ぼすさまざまなリスクに対応するために「トナミホールディングスグループ経営リスクマネジメント管理規程」を制定しています。

経営リスクマネジメント方針

トナミホールディングスグループは、自然災害、事故などの人為的災害、及び経営上の様々なリスクに的確に対処し、経営目標の達成を阻害するすべての要因を可能な限り防止し、排除することにより、社会的責任を果たす。

経営リスクマネジメント行動指針

- ① 経営リスクマネジメントに関する計画を策定し、実施する。
- ② 当社の役員及び従業員等及び関係者の安全・健康を確保する。
- ③ 当社の資産の保全を図る。
- ④ 経営リスクが顕在化した場合には、責任ある行動をとる。
- ⑤ 被害が発生した場合には、速やかな回復を図る。
- ⑥ 経営リスクに関連する社会的要請を当社の経営リスクマネジメントシステムに反映する。

個人情報保護の取り組み

当社グループは、2005年4月の個人情報保護法の施行に伴い、個人情報の適切な利用と保護のための実践遵守基準を明確にした「個人情報保護コンプライアンスプログラム」を制定しています。

お客様や取引先の個人情報の利用目的の適正利用を原則として、細心の注意をもって、責任ある取り扱いに努めています。

また、2016年1月からのマイナンバー制度の本格的な運用開始に向けて、当社グループは、「特定個人情報の適正な取扱いに関する方針」および「特定個人情報

ISMS認証取得

当社グループは、お客様の個人情報や情報資産の管理強化、サービスの安全性・信頼性の一層の向上をはかるため、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 認証取得を奨励しています。

トナミ運輸は、2007年3月および2012年6月、KSRは2009年8月にISMSの認証を取得しました。



ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014認証取得済
上記は、インターネットプロバイダ業務およびデータセンター運用サービスのものです。

公益通報者保護法への対応

当社は、グループ会社も含めた「トナミホールディングスグループ社内通報規程」を制定しています。監査室を通報・相談窓口として、①通報者の保護、②グループ内に潜むリスクの早期発見、③不正通報の濫用の抑止などに努めています。

等取扱規定」を作成し、マイナンバーをはじめとする特定個人情報の管理について、必要かつ適切な安全管理措置を行う体制を確立しました。

今後も特定個人情報を取り扱う事務従事者への教育を実施し、特定個人情報が適切に管理運用されるよう徹底していきます。

トナミホールディングスは、プライバシーポリシーをホームページ上で公開しています。
<http://www.tonamiholdings.co.jp/privacy/>



トナミホールディングス株式会社

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3-2-12
TEL (0766) 32-1073 FAX (0766) 32-1077
URL <http://www.tonamiholdings.co.jp/>
(本報告書はホームページでもご覧いただくことができます。)



本冊子は再生紙を使用しています。

2018年12月発行